

○勘解由次官相當位下

海ヲ以テ家トス壯嚴ニ非ガレバ威ヲ重ルナシ且後世ヲノ加フルアラシメザル

○左兵衛督相當位下

リ完固マツタクノ 憚啓端コチラ

○左馬助相當正六位下

争ノハシヲヒラク 故ワザ 咄エバニ

○刑部大輔相當正五位下

離間ナカアシ 三郎信孝 二郎信雄

○光明天皇部

ス悶々ウレヘモ 改歩オコナヒブリ

地名

膝行ヒガニテスリユ 皇天誘衷テ

○利根川上野国

ワガマコトヲシ 仰清光オスガタヲ

○青野原美濃国

○清光ハ 春秋既高オトシガヨリタ

○雲津川伊勢国

董復フシンノサ 寒微貧賤ノ 張皇

○界浦和泉国

イキホヒオホヒ 糧仗豊備兵糧兵器

○譽田林河内国

ハルソナ 響應ヒミキノコエニオウズル

○瓜生野摂津国

門トリデノモン 火箭ヒヲシコニ

○渡部橋全上

灰ヤケテハイ 不潛火止ザ 巨堤キョテイ

官陵

ツ、ミ 窮山幽谷ヤマオクフ 侵蝕

○井伊城遠江国

オカシ 籍兵兵器ヲト 衆不逞オホ

○高山寺城丹波国

ハム 條禁カデウヲ設ケ 枝梧サハヘ

○黒丸城越前国

モノ 同科科ハ罪 股栗オソレテ 質直シツチカ

○富樫城加賀国

リナクシ 復大讐信長ノアダ即チ逆

○根尾城美濃国

ヤウジキ

○鷹巢城 越前国

○世田城 伊豫国

○天龍寺 山城嵯峨

人名

○經通 関白内経ノ子 内大臣トナリ四年左大臣 元徳元年関白貞治四年 薨ス年四十九

○真木常觀 傳久

○大館氏明 全上

○行房 全上

○里見時義 傳久

○氣比齊治 全上

○里見時成 全上

○瓜生保 全上

○義鑑 全上

○基嗣 関白経忠ノ子 平、子ナリ嘉暦元年内大臣 元徳二年右大臣 元弘二年左大臣 建武四年 関白文保二年薨ス

○尊澄親王 妙法院 後名ヲ宗良ト改ム

イ盟主 諸大名ノ上ニタチテサイハイスル 居恒鞅々

ツネトコ、口瘻 瘻、一或ハ瘻ノ誤ナラン ヨカラヌナリ 瘻、カメバテナリ

晩節 年老ナリ 塊、カタマリ 肚、腹ナリ 剔出、キ

刀瘻、カタナ 容死、カ、リビト、

征夷之寄、モタス 寒族、イヤシ

ガ機密、ナイミツノ 諷、ソレトハサ、

シテサトス 俗ニ云 殊寵、カクベツノ

子然、孤独 冠履易處、カンムリヲア

ラアタマニイタミク トイフニテ 恬

然、前ニ三晋 魏 鄒魚、春秋ノ世ノ

戡定中原、京畿ヲキリ 罷困、ツカレ

ム封殖、貨財ヲタク 盡畧、日クレ 縦

觀如堵、見物人ノ沢山ナラビヲ 自

髡、自分ニテカ 先主、長秀ヲ 齋志、田織

氏ヲ再與センヲ 削繼、ケヅリチ 不

諧、相談ノト、 推恩之日、ヒロク恩

コシ褒賞ヲ 廬舎、イヘ 葺、シニ浪戰

取屈、ムヤニタ、カ 胡孫奴、サル

後名ヲ宗良ト改ム

○江田行義 傳次

○金谷經氏 全上

○足利義詮 尊氏ノ三子ナリ

抱イテ下野ニ奔ル新田義貞高時ヲ滅ス家人等

義詮ヲ奉シテ之ニ屬ス建武四年南軍ノ師北畠

頭家ト戦ヒ兵敗ル尊氏薨ニ嗣テ征夷大將軍ト

ナル正平十六年官軍ノ鋒ヲ避ケテ後光嚴帝ヲ

奉シテ近江ニ奔ル十八年累進シテ權大納言從

二位ニ昇ル二十二年正二位ニ進ム尋テ薨ス年

三十八法名瑞山ト号ス帝左大臣從一位ヲ贈ル

○師泰 師直ノ弟ナリ建武二年北条

時行ヲ相模川ニ敗リ延元々年金等城ヲ攻メ尋

テ之ヲ陷イレ三年源頭家ヲ濃ニ敗リ與國元年

井伊城ヲ陷レ五年三角入道ヲ攻メ其五城ヲ連

取シ直義尊氏ト和成ニ及ンテ兄師ト共ニ僧ト

ナリテ降リ遂ニ吉江時宣ニ殺サル

○桃井直常 賊將

○源頭信 頭家ノ弟

○高師直 師直ノ子ナリ戦功ヲ以

コ○秀吉ヲノ、
シルコトバナリ
斐不遜、ナントシタ
ルブレイゾ

トイ 虓怒、
カケクイ
フ

後陽成天皇 諱周仁

即位、天正十四年十一月廿四日明神宗カカ曆十四年撫孤

シゴヲナデ 陷穽、
オトシ
横槩、
ホコサ

ル 隨方悍禦、
テキノセメヨセキタル
カタヲミアワセマモリ

ナリ 糧竭、
ヒヤウラウ
亨、
ゴチソウ

少艾、
ワカキ
佐酒、
サケヲス、メテシ

雋、
スグレ
娶婦、
ヤモメ
俊爽、
イ

チスグレテ 剛直、
テツヨクマツ
告老

スルキヨ 適情於事外、
コ、
ホカニ

ヤルチ吉治部、
吉川元春治部大
捕タリ故ニ云フ
必煩

一行、
ゼヒトモ一タビ出陣ノ苦
恐累

吾宗、
ワガホンケスガハ心配ヲヒキ
イダサン一ガキヅカハシキ

疽、
デキ
遺囑、
イヒノコシテ
馬歩、
馬

卒 芻菽、
マダサマメ
運司、
ツカサドル

塑造、
ツクニテ
蠢愚、
オロ
眩耀、
マ

ヤクカ、
課、
ケルツ
不貲、
カゾヘラレヌ

○新田義興 義貞ノ子 義興ニ親任セラルル性 驕奢多ク公卿ノ子 女ヲ奪畧シ數死ニ匿シ

○源親房 北畠ト稱ス 大納言師重 ノ子ナリ 博學ヲ著ス 年准后ニ仕セラレ十四 年薨ス南朝ニ精忠アル

旗旂 蔽空 進勲 捍禦 庶人 葉故 披緇 闐呵 湊集 行臺 久頃 鬚首 髮首

輿櫬 推輓 繼家聲 既月 屏息 臚炙人口 振旅 郊勞 巨魁 聯詞 關津

明治十五年一月祠ヲ建

テ顯家ト合祀シ阿部野神社ト称ス(神社所在ノ地名前顯家ノ部ニ出ツ)

○實世 中國太政大臣公賢ノ子ナリ

南朝ニ於テ左大臣ニ任セラレ

○四條隆資 傳久

○畑時能 六郎左工門 勇武ナリ初メ義貞ニ從

ト共ニ足利高経ヲ足羽ニ討チ義助敗ルニ及ヒ

寡ヲ以テ鷹鷲ヲ守リ固ク降ラズ足利ノ大兵之

ヲ攻ム然レモ奇計ヲ以テ敵之ニ克ツ終ニ衆寡

敵セス勇戦シテ死ス

○源長通 太政大臣通 元徳二年内大臣元弘元

年右大臣正慶二年再ヒ

右大臣建武元年辞シ曆

應三年太政大臣康永元

年辞シ文和二年薨ス年

七十四

○道教 本史通ニ作ル 関白房実ノ子ナリ光明

帝建武四年右大臣曆志

元年左大臣康永元年関

白貞和四年薨ス年七十六

○土岐頼遠 土岐七 康永元年光嚴上皇ノ幸

舊誼 フルキ 蠲苛法 コマドシキオ

革舊弊 ムカシカラノワル 士風 ムサ

綏懷反側 フタゴノロアルモ 布

寛大之政 ヲツタリシタル政 與民

休息 シタクトモニヤス 摹 ナリ

聖廟 孔子ノ 行釋菜之禮 孔子ヲ

式ヲトリ 覲聽ク ミキ 靡然成風 ナレ

風俗ヲ 圯缺カケル 記籍ツケ 典禮

家カサドルイヘ 使幣 使者ヒスナレ

名ニ 内地ノ諸大名トオナレ 隙 スミ

爲邊患 ドウカスルトカタホト 叛

服亡恒 スルガキマリナキ 嚮

皇風漸被 天子ノ御威徳ガ次第

化ニ 徳ニナレ 率濱 国ノカタホト

圖 領分 夷徼 エビスガカヒ 互市 交易

ノ 扈從 スルトモ 奔波重沓 見物人カ

リマワリテフミカサ 象 カタ 留御

マリイ 幣獻之腆 ケンジャウモノ

○**師平** 関白冬教ノ子ナリ建武四年内大臣曆志元年右大臣康永元年関白文和二年薨ス年四十四

○**良基** 関白道平ノ子ナリ曆志三年内大臣康永一年右大臣貞和二年関白三年左大臣貞治二年再ヒ関白永徳元年太政大臣二年撰政嘉慶二年再ヒ撰政全年六月薨ス年六十五撰関ニ任セラルル前後四度ナリ

○**細川頭氏** 傳欠

○**山名時氏** 政氏ノ子ナリ尊氏ニ從テ侍所別当因伯西国守護トナル正平七年帰順シ明年足利義詮ヲ神樂母ニ討チ又高師詮ヲ吉峰ニ破リ十年美作ヲ攻テ九城ヲ取り十九年義詮ニ降ル義詮之ニ因伯ニ丹作ノ五国守護トス後髪ヲ削リテ道静ト号ス建徳ニ至死ス

○**官職**

○**帶刀** 相当位ナシ或ハ六位ニ任ス

○**左京大夫** 相当位四位下

○**大炊助** 相当位六位上

供億之般 モテナシノサカンナルノ**超越前古**

マヘカタヨリ**同盟** オナジク**協力** カ

コヘスグレル**同業** ツトメホネラル

ワラア**茂弛** **勤勞** ツトメホネラル

侵牟 トル**沮格** コバミサ**渝** ヘル

二祖 二尊 一宗 天照大神 **罰殛** ツニスル

リ **殞身** 命ヲオ **涙家** タヤス **無有** ナ

遺育 ス子孫ヲタヤ **應制賡歌** 天子ノ御返哥ヲタテマツル **不復贅** タ

トイワヌ **布衣** イヤシキモ **式微** 衰

リ **龍體** 天子ノ御 **礪々落落** 通ス石

ノ高キヨリ **如日月皎然** 日月ノ如

カナルナリ **確々** 以下五胡 **隱然謂**

戦乱ノ世石 **斬トイフ人ノ語** **隱然謂**

其皇胤 アラハニイワズメヒソカニ

リ **大政所** 秀吉ノ **托** ケテ **兆**

于 **夢乎** エメミシニ **撥亂** 叛乱ヲオ

將來 後来 **誣説** イツハリ

頭書 挿画 **國史略字類大全卷之下終**

○兵部大輔相当正五位下 ○治部大輔全上 ○左少將全上

崇光天皇部 **地名** ○四條繩手河内 ○賀名生大和

○飯盛山河内 ○天川大和 ○石川河原河内 ○薩埴

嶺駿河 ○笛吹嶺上野 **宮陵** ○如意輪堂吉野金峯山寺 ○光

明寺攝津 ○小清水全上 ○松岡城全上 ○河村城武藏 **人名**

○秀子三條公秀ノ女陽祿門院ト号ス ○三條公秀後光嚴天皇文和元年内大臣ニ任セラレ貞治六年薨ス

○直仁花園帝ノ皇子 ○正時正行ノ弟ト共ニ四條繩手ニ戦死ス ○楠正儀正行ノ弟

○辨内侍官職 ○直冬尊氏ノ庶長子ナリ幼ニ東勝寺ニ居ル正平ヲ許シ光明帝ニ乞フテ右兵衛佐ヲ授ケ兵二將トシテ之ヲ討タシム嫡母赤橋氏之ヲ惡ム故ニ直義之ヲ子養ス四年中国探題トナル直義師直ヲ囮ル片直冬肥後ニ支リ小貳頼尚ニ據ル直義殺サル、ニ及テ長門ニ支ル山名時氏奏シテ直義ヲ以テ総追捕使トナシ明年尊氏ヲ討ツテ東寺ニ拠リ遂ニ石見ニ還ル志永七年死

ス ○上杉重能父ヲ道宏ト云フ幼ニ叔父憲房ニ子養セララル伊豆守ニ任セララル尊氏義貞ト戦ヒ兵敗レ建長寺ニ入り僧トナラント欲ス重能直義ト偽詔書ヲ作り之ヲ扇マス尊氏左工門尉ヲ授ク重能素ト畠山直宗ト善シ師直兄弟ノ専權ヲ疾ニ直義ニス、メテ之ヲ囮ル直冬敗レテ師直ニ殺サ

○畠山直宗重能ト共ニ師直兄弟ヲ囮リ越後ニ流サル ○妙吉天竜寺ノ僧ナリ ○基

氏尊氏ノ子ナリ幼名ヲ龜若丸ト云フ正平十四年尊氏之ヲ関東管領トス然レドモ尚幼ナリ上杉憲頭等之ヲ捕ク崇光帝左馬頭ヲ授ク尋テ左兵衛督ニ遷ル八年国清ヲ義貞ヲ誘殺セシム兄義詮父ノ職ヲ嗣クニ及ンテ義詮ニ乞テ吉野ヲ攻メ其疑ヲ避ク十九年從三位ニ叙ス既ニメ卒ス年二十八

○上杉憲頭憲房ノ子ナリ且利尊氏ハ憲房ノ甥ナルヲ以テ最モ尊氏ニ信重セララル從五位上民部大夫トナル屢尊氏ヲ助ケテカトナル正平四年鎌倉ニ執事タリ上野越後伊豆ノ守護トナル重能師直ニ殺サル、ニ及ンテ深ク之ヲ仇トス明年直義ニ從テ鎌倉ニ入ル尊氏之ヲ攻ム憲頭信及ニ奔ル基氏旧思ヲ思ヒ罪ヲ宥メテ越後守護ヲ再授ス基氏死シ

子氏滿管領トナル憲頭執事故ノ如シ二十三年死ス年六十三 ○畠山國

清家國ノ子ナリ累進シテ修理大夫トナル建武三年尊氏ニ從テ武敏ヲ破リ紀伊守護トナル正平四年叛テ直義ニ歸シ六年和シ既ニノ又間ヲ生ス乃チ直義ト越前ニ奔リ再和ヲ議ス成ラス支テ尊氏ニ從ヒ直義ヲ誘致シテ鎌倉ニ幽ス十四年基氏ニ勸メテ南侵シ遂ニ細川清氏ニ説テ義長ヲ攻ム既ニノ鎌倉ニ還ル

義ト越前ニ奔リ再和ヲ議ス成ラス支テ尊氏ニ從ヒ直義ヲ誘致シテ鎌倉ニ幽ス十四年基氏ニ勸メテ南侵シ遂ニ細川清氏ニ説テ義長ヲ攻ム既ニノ鎌倉ニ還ル

十六年基氏之ヲ逐フ明年之ヲ討ス国清降ル基氏之ヲ殺サント欲ス人密ニ之ヲ告ク因テ潛ニ逃レテ西上ニ楠正儀ニ歸順ヲ乞フ許サズ遂ニ城和ノ間ニ竄シテ餓死ス ○藥師寺公義 傳欠 ○源頭能 伊勢国司正平中義兵ヲ率テ切アリ ○細川

賴春 阿安守和氏ノ弟ナリ刑部大輔トナリ讃岐守ニ任ス奥国ノ初大館氏明ヲ世田城ニ攻ム氏明自殺ス尋テ侍死トナル正平七年足利義詮ノ東寺ニ執ルヤ官軍之ヲ討ス賴春兵ヲ卒ヒテ援ニ赴カントス途官軍ノ將和田正忠楠正儀等ト戦ヒ馬ヨリ落チテ殺サル年五十四賴春射ヲ善クシ和哥ニ妙ナリ

○義宗 義貞ノ子 ○脇屋義治 義助ノ子 官職 ○將監 左右相当從六位上 ○掃部助 相当從六位上 後光嚴天皇部 地名 ○垂井 美濃国不破ニアリ中仙道六十一駅ノ一ナリ ○東坂本 近江 ○山崎 山城 ○夜笠山 全上 ○矢口渡 武藏 ○入間川 全上 ○龍門山 紀伊国 ○銀

嵩 大和 ○龍泉 河内 ○平岩 全上 ○琵琶塚 摂津国 官陵 ○武佐寺 近江 ○等持院 山城 ○長寿寺 相模

○觀心寺 河内 ○谷堂 山城国松尾社ノ西 ○小濱城 若狭 ○石清 山城 ○善法寺 石清水ノ社務ニテ天台宗ナリ ○南禪寺 山城

○山名師氏 時氏 ○佐々木道譽 四郎ト称シ名ヲ高氏ト云宗信ト云フ北条高時ト共ニ髮ヲ削リ名ヲ道譽ト更ム高時濠肆日ニ甚シキヲ以テ潛ニ尊氏ニ之ヲ囑ラン一ヲ勸メ遂ニ從フテ歸順ス尊氏ノ北条時行ヲ討ツヤ道譽先鋒タリ尊氏及シ官軍未討スルニ及テ道譽身ニ數創ヲ被ル既ニメ官軍ヲ竹下ニ敗リ尋テ殿屋義助ヲ撃チ源頭家ヲ拒テ正平三年楠正行ヲ破ル五年挑井直常ヲ四糸河原ニ討チ尊氏兄弟ノ和成ニ及ンテ近江ニ歸ル尋テ信詮ト舟岡山ニ戦ヒ遂ニ敗走ス七年官軍ノ義詮ヲ討ツヤ戰敗レテ共ニ近江ニ走ル十四年吉野ヲ犯ス時ニ仁木義長執事タリ權ヲ專ニス道譽之ヲ義詮ニ諷ス義長伊勢ニ支ル道譽義詮ニ乞フテ摂津守護ヲ奪ヒ自領ス又清氏ト權ヲ争ヒ之ヲ義詮ニ誣告ス義詮清氏ヲ討ス清氏敗ル足利高經執事トナル道譽之ヲ舍ミ又義詮ニメテ之ヲ討シム高經田中ニ死ス義詮征夷大將軍トナルヤ道譽ノ孫秀詮ヲ受宣使トス道譽功ヲ恃ンテ豪縦少シモ忌憚スル既ナシ嘗テ西郊ニ狩スルハ妙法院ヲ火クヲ以テ上総ニ流サレ幾クモナラズノ歸リ近江ニ居ル文中二年死ス年六十

○秀綱 佐々木道譽ノ長子ナリ正平八年山名時氏義詮ヲ攻ムルヤ義詮敗レテ帝ヲ奉シテ美濃ニ走ル秀綱後拒タリ追兵至ルニ及

ハ

六十

八

死ス ○細川清氏 和氏ノ子ナリ累進シテ相模守從四位下ニ至ル正平

ナリ十六年義詮清氏ヲ圍ル乃チ若狹ニ歸リテ小濱ニ居ル義詮之ヲ討ツ清氏上

書シテ南朝ニ降リ義詮ヲ討テ京師ニ止ル然レモ勤王ノ師至ルナシ尋テ河内ニ

走リ既ニノ讚岐白峰城ニ拠リ再挙ヲ ○仁木賴章 義勝トイフ周防伊賀

計ル遂ニ弟賴之ノ為ニ自殺ス ○守護左京大夫兵部大捕ニ任ヌ尊氏ノ直冬ヲ討ツヤ兵

ヲ卒ヒテ嵐山ニ軍ス十三年薨髮シ明年死ス年六十一 ○菊地武光 重

ノ弟ナリ南朝ニ ○懷良 後醍醐天皇 ○經教 關白道平ノ子ナリ貞和

忠アリ 延文三年關白志永 七年薨ス年六十九 ○一色直氏 傳久 ○範光 全上 ○細川繁

氏 ○畠山道誓 國清薨髮ノ 名ナリ ○仁木義長 賴章ノ 弟ナリ ○赤松

光範 傳久 ○秀詮 判官ト稱ス正平中官軍ヲ將捕正儀和田正武等ト撰

津ニ戰ヒテ死ス ○道嗣 關白基嗣ノ子ナリ貞和三年內大臣トナリ五年右大臣

○義滿 小字ハ春王將軍義詮ノ子ナリ正平十六年捕正儀山名氏清等義

年歸ル二十一年後光嚴帝位五位下ヲ授ケ御董ノ書之ヲ賜フ明年正五位下ニ叙

シ左馬頭ニ任ヌ義詮薨ニテ義滿嗣ク年十才征夷大將軍ニ任ヌ文中二年天野行

宮ヲ犯ス長年參議左近工中將從四位下トナル天授元年筑紫ニ赴キ菊地ト戰テ

大二之ニ勝ツ從三位ニ叙セララル四年權大納言ニ任ヌ室町ノ新亭ヲ造テ之二居

ル花御院ト稱ス秋右近工大將ヲ兼テ從二位ニ叙ス五年馬寮御監ヲ兼テ六年從

一位ニ叙ス弘治元年內大臣ニ任シ二年左大臣ニ轉シ藏人別當ニ補シ牛車ヲ聽

サレ院ノ執事トナル是年河泉紀ヲ取ル三年內弁ヲ務メ西院別當氏長者トナリ

尋テ准三宮トナル元中五年大將ヲ辭シ五年左大臣ヲ辭ス六年山名氏清ヲ斃シ

其旧領ヲ群士ニ分ツ尋テ楠正元ヲ殺ス既ニ養母ノ喪ニ依テ官ヲ辭キ又大內

義弘ヲ和ヲ南朝ニ請ヒ兩朝ヲ一統ス十二月再ヒ左大臣ニ任シ明德四年兵杖

ヲ賜リ尋テ左大臣ヲ辭シ冬征夷大將軍ヲ辭ス志永元年太政大臣ヲ拜ス世稱メ

公方ト云フ明年肆シテ刺髮シ天山道義ト云フ三年延曆寺ニ如キ其行奉ニ擬ス

四年金閣ヲ北山ニ作テ之二居ル六年大內義弘ヲ斃シ八年明主ト好ミヲ通シ十

五年薨ス鹿苑院ト号ス執政凡ソ四十二年詔ノ太上皇ノ号ヲ贈ル義持辭シテ受

○義將道朝ノ子ナリ義詮カ執事トナル ○斯波氏經道朝ノ子ナリ ○細川頼之道朝ノ子ナリ

頼春ノ子ナリ弥九郎ト称ス人トナリ端厚謀畧讀書ヲ好ミ詩哥ヲ善クス右馬頭トナリ從四位下ニ叙ス正平十七年細川清氏畔ク頼之ヲ斬ル義詮病ニ罹リテ頼之ヲ執事トナシ懇懇ニ子義滿ヲ托シ二人ニ云テ曰父ノ如ク子ノ如クセヨト尋テ武藏守ニ任ス既ニ相模守ニ轉シ天授五年職ヲ罷テ讃岐ニ歸ル癸卯年臨テ剃髮シ名ヲ常久トイテ元中八年倫中ヲ平ケ山名家ヲ督ス明年卒ス義滿幼ヨリ其保育ヲ受ケ長スルニ及ンテ益之ヲ敬重ス串大小トナク皆之二從フ死ニ及ンテ驚天久シ自ラ其

○通相太政大臣長通ノ子ナリ延文元年内大臣ト葬ニ臨ンテ之ヲ送ル ○氏滿幼名金玉丸基氏ノ子ナリ父卒スルニ及ンテ職ヲ嗣ク千種ト号ス ○冬通関白師平ノ子ナリ延文五年右大臣貞治元年左大臣全

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

○朱元璋元ノ人国王ヲ伐テ国ヲ明ト号ス之ヲ太宗トス ○師良良基ノ子ナリ貞治五年内大臣六年右大臣广安二年

○今川了俊貞世剃髮シテ了俊ト号ス ○大内義弘後香園院ト号ス

○左京大夫相当正五位下 ○後圓融天皇后地名

○伊都郡紀伊 ○大野河内 ○高良山筑後 ○宮陵 ○玉川宮紀伊 ○土丸城全上 ○新宮全上 ○崇賢人名

門院姓ハ藤氏名ハ仲子天 ○兼綱中納言光業ノ子ナリ准大臣タリ永徳元年薨ス年六十七左大臣ヲ贈ル

○菊地武政文中元年今川貞世ト筑紫ニ戦ヒ克クス明年探題ヲ襲ヒ數之ニ克ツ既ニ病テ卒ス

○榮仁親王崇光天皇ノ子ナリ有栖川宮ト称ス ○仲猷僧ノ明ノ ○無逸全上

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

孫太郎ト称シ父ヲ弘世ト云フ勇武和哥ヲ好ム年十六ノ片今川貞世ト筑紫ヲ略シ遂ニ鎮西ヲ平ク左京権大夫從四位下トナル足利義滿豊前守護ヲ授ク山名氏清友ス其將小林基ヲ四条大官ニ斬ル義滿賞メ和泉紀守護ヲ授ク明年吉野ニ詣リ和ヲ乞フ議成テ皇統一ニ歸ス後剃髮シテ名ヲ有繫ト号ス雄富天下ニ冠タリ義滿北山第ニ故ヲ以テ大ニ志ル義弘亦自ラ安ンセテ遂ニ叛シテ堺ニ拠ル捕正勝寺之ヲ援ク義滿乃チ頼之滿家ヲノ之ヲ討シム義弘力戦シテ遂ニ殺サレ

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

○冬資傳久 ○忠基関白經教ノ子ナリ平安三年右大臣トナリ永和元年関白左大臣广永四年薨ス年五十三後已心

院ト ○師嗣 関白師良ノ子ナリ 永和元年右大臣四年左大臣康曆元年関白号ス 嘉慶三年又関白 永五年又関白 六年落飾ス後香園院ト号ス

○鄭夢周 朝鮮ノ使者 ○上杉能憲 憲頭ノ子ナリ 家ヲ空間トイフ 足利朝房モ執事タリ之 ○憲春 憲頭ノ四子ナリ 刑部大捕ニ任シ 足利氏滿ニ任ヘテテ之ヲ諫メテ自殺ス 氏滿驚悔シテ遂ニ止ム ○橋本正時 楠家ノ一

計ル憲春固ク之ヲ止ム 聽カス乃チ家ニ歸リ書ヲ 作テ之ヲ諫メテ自殺ス 氏滿驚悔シテ遂ニ止ム ○橋本正時 楠家ノ一

○宇佐美正種 全上 ○神宮寺師総 全上 ○楠正勝 正儀ノ子ナリ 右馬頭トナル 元中九年第正元ト共ニ 足利ノ兵ト早ニ戦テ 克ク

ズ 応永六年大内義弘 足利氏ニ反ス 正勝兵三百ヲ卒ヒ 菊地氏ト共ニ之ヲ援ケテ 堺一物ル 足利ノ兵之ヲ攻ム 既ニノ城陷ル

乃チ兵ヲ引テ 大和ニ奔ル 終ル 既ニノ城陷ル ○正元 正勝ノ弟ナリ 正勝大和 師ニ入リ 義滿ヲ狙フ 支覚レテ殺サル ○山名義理 傳久 ○如琮 全上 ○胡惟庸 明ノ逆

○官職 ○藏人所別當 一人(イナノカミト称ス) 後小松天皇部 ○地名 ○明光浦 和及和 哥浦 ○平尾

○阿蘇山 肥後 國 ○大覺寺 山城國 鹿苑寺 北山ニ

アリ 庭園宏麗 中ニ三層ノ閣ヲ設ケ 金ヲ塗リ 巍々トシテ 屹立ス 回ルニ 大池アリ 奇岩妙石 既々ニ 突出シ 四時ノ風色 実ニ 絶佳ナリ 都下ノ遊客 乞フテ 觀賞ス

○長森城 美濃 國 ○通陽門院 諱嚴子三條 公忠ノ女 ○源義成 義ハ善ナランカ 尊雅親王ノ子ナリ 嘉慶元年儀同三司トナリ 応永元年内大 臣尋テ 倅シ 二年左大臣八月 辞シテ 剃髮ス 四辻又岩松寺ト号ス

○滿奉 時氏ノ孫 師義ノ子ナリ 明德元年 義滿々幸 氏清ヲ 時照ヲ 討シ 時照敗走ス 既ニノ幕府 其罪ヲ 免ス 滿幸等 悦ハス 十二月 氏清ト与ニ 及ス 幕府之ヲ 討ス 氏清 敗死シ 滿幸 逃亡シ 遂ニ 殺サル ○時照 傳久 ○細川常久 頼之 刺

シ 滿幸 逃亡シ 遂ニ 殺サル ○賴元 傳久 ○六角滿高 全上 ○實時 内大臣 公清ノ子ナリ 嘉慶二年 左大臣 応永元年 太政大臣 十一 薨ス 野宮ト号ス ○經嗣 関白 經通ノ子ナリ 嘉慶二年 内大臣 六年 同上 十七年 又同上 廿五年 薨ス 年六十一 成恩寺ト号ス ○義持 義滿ノ子ナリ 応永元年 元服シテ 正

ス 以後 叙任 累進シテ 従一位 内大臣ニ 至リ 西院 別当 氏長者ト ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

ナリ 正長元年 薨ス 年四十三 勝定院ト号ス 太政大臣ヲ 贈ラル ○菊地貞

賴ヨリ傳ト久ク ○小貳忠資セウジウチウジ全上 ○畠山基國ハタケヤマキクニ全上 ○元熈ゲンキ明大

孫之ヲ建文 ○實冬サネフユ内大臣公忠ノ子ナリ元永二年内大臣六年元

棟テ明主ヲ執シテ自立 ○義嗣ヨシツグ義滿ノ子進シテ正二位大納言ニ至ル

ス義持兵ヲ發シテ之ヲ攻ム ○良嗣ヨシツグ義嗣ノ子ナリ元永六年内大臣九年元

年難髮シテ後 ○滿兼ミツカネ基氏ノ長子ナリ右馬頭ニ任シ從四位下ニ叙ス元永

普賢寺トイフ ○滿兼ミツカネ五年管領トナリ左兵衛佐ニ遷ル十六年卒ス世ニ其

家ヲ鎌倉御所 ○持氏モチウヂ滿兼ノ子ナリ元永二十年管領トナル廿三年上杉禪

アリ其執事憲実之ヲ諫ム故ヲ以テ持氏之ヲ惡ム憲実幕府ニ訴フ ○斯波

幕府諸國ニ令シテ兵ヲ發ス持氏戰敗レテ永安寺ニ入り自殺ス ○滿基ミツキ關白師嗣

義淳ヨシツル左兵衛督義重ノ子ナリ元永十六年管領トナル ○尹纒トヨツル傳久

初ノ名ハ道忠室元十年内大臣トナリ十六年 ○尹纒トヨツル傳久 ○氏憲ウヂノリ相當從

關白元大臣十七年薨ス年十八福照院ト号ス ○右京亮ウケノカミ五位下

朝房ノ子ナリ剃髮シテ禪秀トイフ ○官職 ○右京亮ウケノカミ五位下

稱光天皇部 人名 ○光範門院ミツノカミ諱資子日野 資國ノ女 ○日野

資國シゲクニ大納言時光ノ子ナリ元永十二年准 ○滿隆ミツタカ氏滿ノ子ナリ新御堂

姪持仲ト共ニ死ス ○持仲モチナカ左兵衛督滿兼ノ子ナリ ○滿詮ミツタカ義持ノ叔父元永

贈 ○滿教ミツタカ關白忠基ノ子ナリ元永廿一年右大臣廿五年關白元永廿二至

○公俊キミトシ太政大臣實時ノ子ナリ元永廿五年右大臣廿六年元永廿六

良ヨシ關白經嗣ノ子ナリ元永廿八年内大臣元永廿九年右大臣元永廿九年

八十後成恩 ○義量ヨシヒコ義持ノ子ナリ元永三十年征夷大將軍ニ任ス官參議ニ

寺ト号ス ○祭子ヨシコ義量ノ母 ○高熾タカヒ明ノ仁宗 ○贍琪シキ宣宗 ○赤松滿

祐タカ大膳大夫義則ノ子ナリ嘉吉元年將軍義教滿祐ノ既領備播作ノ三國ヲ分テ

伊豆守貞村ヲ封セントス滿祐聞テ深ク之ヲ恨ミ義教ヲ私第ニ招キテ之ヲ

弑シ播磨ニ歸ル細川持之等義勝ヲ奉シテ ○義教ヨシノブ將軍義滿ノ子ナリ初メ

往テ之ヲ討ス滿祐敗レテ自殺ス ○義教ヨシノブ青蓮院ニ入り義円ト号

ス正長元年義詮薨ス自山滿家石清水ニ闖テ取リ之ヲ繼嗣トス名ヲ義宣ト改ム
從五位下左馬頭トナル尋テ從四位下ニ叙ス永享元年元服シテ參議左近中將
征夷大將軍ニ任ス名ヲ義敏ニ改ム累進シテ從一位内大臣トナリ尋テ右大臣ニ
至ル既ニ西院別當氏長者ヲ兼ヌ十年左大臣ヲ辭シ是年持氏ヲ討ス嘉吉元年
赤松滿祐ニ殺サル年四十八普廣院
善山ト稱ス太政大臣ヲ贈ラル

馬頭 相當從五位上
後花園天皇部 **地名** ○ **海老名** 武藏國

○ **分倍** 全上 ○ **扇谷** ○ **日光山** 下野國 ○ **小山** 全上

○ **嶽山** 河内國 ○ **北條** 伊豆國 ○ **糺河原** 山城國愛宕郡ニアリ即チ鴨御祖神社ノ境内ヨリ出

ル小瀨ノ高野川ニ合スル如ク ○ **宮陵** ○ **永安寺** 相模國 ○ **高安寺** 武藏國 ○ **國**

清寺 伊豆國 ○ **古河城** 下野國 ○ **金胎寺** 河内國 ○ **人名** ○ **敷政**

門院 諱幸子經有ノ女 ○ **經有** 權大納言重資ノ子ナリ從四位下右少 ○ **貞**

成 天皇ノ父君 ○ **持基** 關白滿基ノ子ナリ初メ基教ト云フ志永廿六年右大臣

テ攝政文安二年薨ス年五十六後福照院ト号ス ○ **房嗣** 關白忠嗣ノ子ナリ志永廿二年内大臣永享

二年太政大臣准三官ニ至ル ○ **清通** 右大將通宣ノ子ナリ永享元年内大臣享徳元年太政

○ **祁鎮** 英京 ○ **上杉憲實** 駿河守説定ノ子ナリ從五位下皇后宮大

ニ及ンテ屢諫ムレテ聽カズ持氏却テ之ヲ惡ム憲實乃チ幕府ニ訴フ持氏敗レテ

自殺ス是ニ於テ管領トナル自ラ謂ラク主ニ抗スルノ罪大ナリト乃チ職ヲ第ニ

讓リ持氏ノ像前ニ自殺セントス家人其刀ヲ奪フ因テ傷ヲ療シテ伊豆ノ國清寺ニ閉居ス ○ **憲直** 憲實ノ從父弟 ○ **一色**

直兼 阿波守氏兼ノ子ナリ持氏ニ仕フ持氏自殺ス ○ **賢王丸** 持氏ノ子

シテ義久ト云フ永享十一年持氏自殺ノ片自尽ス年十一 ○ **春王安王** 持氏ノ子ナリ兵ヲ下野ニ起

春王時二年十 ○ **結城氏朝** 藤原朝光ノ後ナリ持氏自殺シ其子春王安王奔

三安王ハ十一 ○ **教康** 赤松滿祐ノ子ナリ將軍義教滿祐ノ版

ヲ卒ヒテ之ヲ攻ム氏朝子光 ○ **教康** 圖ヲ分テ負村ニ与ントスルヲ聞キ父

久ト戰死シニ子ハ囚ヘラル ○ **教康** 二告テ密ニ謀ヲ定メ義教ヲ私第ニ招請シテ之ヲ殺シ首ヲ携ヘテ播磨ニ歸ル細

川持之等義勝ヲ奉シテ未討ス滿祐自殺ス教康逃レテ伊勢ニ往キ遂ニ死ス

○細川持之 右京大夫滿基ノ子ナリ位四位下右京大夫トナリ永享二年管

ヲ奉シテ滿祐ヲ討ス明年卒ス ○義勝 義教ノ子ナリ嘉吉元年父弒セラ

年四十三法名常喜春岳ト号ス ○義勝 義教ノ子ナリ嘉吉元年父弒セラ

尋テ從五位下ニ叙ス二年元服シテ正四位下左近工中將征夷大將軍ニ任ス三年

從四位下ニ進三既ニ薨ス年十才慶雲院ト号ス從一位左大臣ヲ贈ラル

○山名持豊 時源ノ子ナリ祝髮シテ宗全ト云フ義教ノ弒セラハヤ詔

男ヲ生ム然レ既ニ義視ヲ以テ嗣トナス富子之ヲ僧トスルヲ欲セス乃チ宗全

ニ托ス宗全固ヨリ勝元ト惡シ義視若シ將軍トナラハ勝元權ヲ專ニセンコト慮

リ自ラ以テ為ラク此兇ヲ援シニ如ズト其命ニ從フ忘仁元年義視ヲノ勝元ヲ畠山

政長ト絶交セシメ義就ト共ニ政長ヲ討ツ勝元怒リ遂ニ宗全ト京中ニ戰フ京師

第名兵變ノ為ニ曠野トナレリ宗全ハ西ニ勝元ハ東ニ陣ス之ヲ忘仁ノ乱トイフ

是ヨリ連年兵解ケズ畠山義統宗全ニ叛キ勝元ニ歸スルニ及ンテ東軍次第ニ覆

ヒ西陣衰フ宗全ノ從兵勝元ニ降 ○義政 嘉吉三年兄義勝早世ス因テ職ヲ

ル者多シ五年陣中ニ卒ス年七十 ○義政 嘉吉三年兄義勝早世ス因テ職ヲ

襲フ時二年甫メテハ才既ニノ名ヲ義成ト更ム正五位下ニ叙シ侍從ニ任ス室德

元年征夷大將軍トナル累進シテ享德二年從一位ニ叙シ名ヲ義政ト改ム十二月

兩院別當氏長者トナリ康正元年右近工大將ヲ兼ネ馬寮御監トナル是歲使者ヲ

朝鮮ニ發ス長祿二年内大臣ニ任シ寛正元年左大臣ニ轉ス是年畠山長政ヲシテ

義就ヲ討シム五年院執事トナリ兵杖ヲ賜ヒ尋テ准三宮トナリ十一月義尋ヲノ

還俗セシム文正二年左大臣ヲ辞ス文明五年職ヲ義尚ニ讓リ東山ニ東求堂ヲ造

テ之ニ居ル東山殿ト稱ス延德二年薨ス年 ○有光 權大納言資教ノ子ナリ

五十六慈昭院ト号ス太政大臣ヲ贈ラル ○資親 有光ノ子ナリ官右大弁參議宰

權大納言ニ至ル嘉吉四年 ○資親 有光ノ子ナリ官右大弁參議宰

異國アリテ誅セラル ○資親 有光ノ子ナリ官右大弁參議宰

滿院 諱円胤後村上天皇ノ孫ニノ大僧正タリ文 ○細川勝元 右京大

ノ子ナリ文安四年管領トナリ享德元年再ヒ管領トナル 志仁元年山名宗全ト權

ヲ争ヒ大ニ京中ニ戰フ畠山義統勝元ニ歸スルニ及テ軍大ニ覆フ五年三月宗全

陣中ニ卒シテ兵燹△五月卒ス年四十四法名崇德童安 ○實熙 内大臣滿季

寺ト号ス官累進シテ從四位下武藏守右京大夫ニ至ル ○實熙 内大臣滿季

安三年内大臣享德二年右大臣康正元年 ○廊玉祁 明宣宗

尤大臣長祿元年在薛ノ刺髮ス東山ト号ス ○廊玉祁 明宣宗

右大將道宣ノ子ナリ永享元年内大臣享德 ○教房 禪關兼良ノ子ナリ享德

元年太政大臣ニ至ル二年薨ス年六十一 ○教房 禪關兼良ノ子ナリ享德

大臣長祿元年尤大臣廿二年関白寛正四年辞シ兵庫ニ ○持通 関白持基ノ

暫居ス文明十七年土州ニ薨ス妙花寺ト号ス ○持通 関白持基ノ

三年右大臣トナリ享德二年関白康正元年又関白長祿 ○政長 尾張守持富

二年太政大臣寛正四年又関白明徳二年薨ス年七十二 ○政長 尾張守持富

ノ子ナリ寛

國史略字類大全

卷之六

百三十五重慶辛

正二年義就將軍ノ命ニ違フ政長之ヲ攻ム義就逃亡ス五年管領トナル志仁元年

宗全之ヲ殺サント欲ス將軍許サズ遂ニ義就ヲノ之ヲ攻シム政長逃走ス應仁ノ

乱勝元ニ党ス文明九年管領トナリ明志三年

義材ニ從テ畠山義豐ヲ攻メカ戦シテ死ス ○則尚 彦五郎ト称ス享德三

家ハブルヲ憐ミ義政ニ乞テ滿祐ノ子教祐(或ハ康三作レ)及ヒ從弟則尚二旧領播

磨ヲ与フ宗全大ニ怒リ康正元年兵ヲ卒ヒテ之ヲ攻ム教祐ハ伊勢ニ支リ則尚備

前ニ自 ○實量 右大臣公光ノ子ナリ宝徳二年内大臣ニ任シ長祿元年右大

殺ス ○政則 滿祐ノ弟義雅ノ孫ナリ嘉吉中滿祐罪アリ赤松氏滅ス家人石見太

謀ヲ合セ南都ノ偽主ヲ殺シ神皇ヲ奉還ス実量為ニ之ヲ奏ス乃チ政則ヲシテ赤

松家ヲ嗣シメ加及半因ヲ賜フ成長ノ後旧領ヲ復セントス宗全怒ル志仁ノ乱階

トナル此時政則切アリテ勝元ノ婿トナル文明中播作備ノ三國ヲ討テ之ヲ領ス

赤松家ノ中興ト称ス累進シテ右京大夫從三位ニ至ル明志二年播及ニ卒ス年四

十二 ○政知 將軍義教ノ子義政ノ弟ナリ初メ剃髮シテ天童寺ニアリ長祿

ノ請ニ志ノ伊豆北条ニ居ル堀越御所ト称ス文明七年從三位ニ叙ス政忠二子ア

リ長ヲ茶々丸トイヒ次ヲ義還トイフ義還ハ即チ後妻ノ生ム政知之ヲ愛シテ

嗣トナサントス継母亦之ヲ欲ス因テ茶々丸ヲ別室ニ幽ス延徳三年四月茶々丸

守者ノ意ヲ伺ヒ密ニ出テ継母ヲ刺殺シ其党ヲ卒ヒテ政知ヲ攻ム政知自殺ス年

五十 ○足利成氏 左馬頭持氏ノ子ナリ如名永壽ト云フ永享中持氏自殺

氏ノ胤子ヲ立テ鎌倉ノ主トナシ憲忠ヲ執事トナサント欲ス京師之ヲ許ス名ヲ

成氏ト改ム既ニ怨ヲ上杉氏ニ修セントス乃チ氏朝等ト闘ル宝徳二年夏泄ル

成氏走ル尋テ和成ル永享十二年成朝ト謀リ憲忠ヲ殺ス上杉ノ族皆成氏ニ叛ク

昌賢請テ憲忠ノ弟憲房ヲ管領トシ定正ト共ニ成氏ヲ攻ム成氏走テ古河城ニ据

ル既ニメ城陷リ千葉ニ奔ル文明十年上杉ト媾シ古河ヲ復シ和ヲ義政ニ乞フ之

ヲ許ス官進ンテ左兵衛督左馬頭ニ至ル卒ス八年六十四乾亨院ト号ス

○見深 明英京ノ子之 官職 ○左馬助 相当正 六位下 ○太宰少

貳 相当後 五位下 ○侍從 全上 後土御門天皇部 地名 ○御靈森 京都上京上御靈社ナリ京

極ノ西鞍馬口ノ南ニ在リ ○御靈達 全上 ○平井

上野 ○浄土寺村 山城国 鉤里 近江国栗太郡今

○浄土寺 浄土寺村ニアリ義政ノ創立ニノ庭園樓閣

○花坪 室町ニ

○悲田院 上京西陣堀川ト小川ノ間寺之内

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

○小田原城 相模

人名 ○嘉樂門院諱信子内ナ ○信宗内大臣宗氏ノ子ナリ永享四年内大臣ニ任シ享

德二年剃髮ス薨スルニ及テ太政大臣ヲ贈ラル ○義規將軍義教ノ子ナリ初メ浄土寺ニ入テ義尋

テ義規ト名ヲ更メ丸馬頭ニ任シ從五位下ニ叙入尋テ參議左近中將權大納言

ニ至リ正二位ニ昇ル志仁ノ乱ニ京ヲ出テ伊勢ニ至リ勝地ニ遊フ明年義政之ヲ

召ス十月京ニ歸リ勝元ニ劫カサレテ宗全ノ陣ニ入ル既ニソ解官シ文明九年京

ヲ去リテ濃ニ至ル延徳元年義政之ヲ召ス乃チ子義材ヲ携ヘ京師ニ歸リ三条東

洞院曇華院ニ居リ薙髮シテ道存トイヒ久山ト号ス三年 ○重政義資ノ子

薨ス年五十三大智院ト号ス從一位太政大臣ヲ贈ラル ○政嗣持通ノ子ナリ文正元年右大

正二位内大臣贈ラル妙心院ト号ス ○實遠太政大臣公名ノ子ナリ文正元年内大臣トナリ

明二年関白十二年 薨ス年三十八 ○日野勝光贈内大臣政光ノ子ナリ志仁元年内大臣文明

年六十二後竹林院ト号ス ○織田信秀彈正忠信定ノ子ナリ尾張ニ居ス天文十

ナリ文明五年正五位下ニ叙シ左近中將ニ任シ征夷大將軍トナル時二年九才

十一年父ニ代テ政ヲ執ル八年十五諸官位歴進シテ十五年從一位ニ叙シ西院別當

氏長者トナル十六年右近大將ヲ兼ネ十八年馬寮御監トナル長亨元年佐々木

六角高頼ヲ近江ニ伐テ之ヲ走ラス陣中間アレハ則孝経及ヒ春秋左氏傳ヲ講セ

シメ之ヲ聞ク二年内大臣ニ任ス名ヲ義熙ト改メ是ニ ○政基関白滿教ノ

於テ薨ス年二十五大政大臣ヲ贈ラル常徳院ト号ス ○政平関白房平ノ子ナリ仁二

二年右大臣文明七年左大臣八年関白永年関白三月左大臣長亨二年太政大臣准三后

永正十四年薨ス年七十三專祿院ト号ス ○政家関白房嗣ノ子ナリ文明七

年関白三月左大臣長亨二年太政大臣准三后 ○上杉顕定相模守房定ノ

永正二年薨ス年六十二後法興院ト号ス ○道灌名ハ持資父ヲ道真ト云フ源三位頼政ノ裔ナリ平常田

景ト戦ヒ敗レテ自殺ス ○道灌獵ヲ好ミ武勇ニ名アリ嘗テ獵シテ暴雨ニ遇ヒ一小家

ニ至リ雨具ヲ乞フ家ニ一少婦アリ山吹ノ枝ヲ折リ之ヲ呈ス灌敢テサトラス乃

チ雨具ヲ隣家ニ得テ歸ル後人ニ婦カ花ヲ進ムル死以テ問フ其人曰ク笠簑十キ

ノ訣ニソ古哥ノ意ヲ示スナリナ、ヘヤハナハサケドモヤマブキノミノヒト

ツダニナキゾカナシキノ哥乃チコレナリ灌大ニハガ是ヨリ田獵ヲ止メテ專ラ

詩哥ヲ学ブ遂ニ家集ヲ著ス又築城ニ精シ文明十 ○通博初メ尚ト云フ

八年兩杉権ヲ半フ片定正ノ為ニ浴室ニ殺サル ○細川政元勝元ノ子

子ナリ寛正二年内大臣五年右大臣文正元年辞シ ○細川政元勝元ノ子

文明十三年太政大臣ニ至リ十四年薨ス年五十七

○細川政元勝元ノ子

ナリ文明

十八年執權トナル性荒暴ニ酒ヲ好ミ異端ノ
説ヲ信ス遂ニ竹田孫七ノ為ニ浴室ニ殺サル
ナリ六年辞シ長亨元年關白ニ
年薨ス年五十普門寺ト号ス

○**祐檜** 憲宗ノ子是ヲ
孝宗トス

後栢原天皇部 **地名** ○春日山 大和 ○嵐山 山城

○百百橋 ○百万遍 知恩寺トイフ 東山ノ麓 ○吉田 東山ナリ ○岳

山 近江 ○船岡山 山城 ○高雄山 洛西ニ ○甲賀山 近江

○**尼崎** 摂津 ○**撫養** 阿波 **人名** ○朝子 権大納言長賢ノ
女贈皇太后

○**冬之良** 関白教房ノ子ナリ文明十八年内大臣長亨二年関白明二
大臣六年再ヒ関白永仁十一年薨ス年五十一後妙花寺ト号ス

○**尚經** 関白政基ノ子ナリ明六年内大臣文龜元年右大臣
六月関白永正三年左大臣享祿三年薨ス年六十五 ○**義澄**

左門督政知ノ子ナリ初メ一通ト云フ明二年内細川政元義材ヲ廢シテ之ヲ立
ソ三年左馬頭ニ任シ正五位下ニ叙ス名ヲ義高ト改メ征夷大將軍ニ任ス文龜二
年参議兼左近工中将ニ任シ今ノ名ニ更ム三年從三位ニ叙セラレ永正八年八月
十四日近江国岳山ニ薨ス年三十二法住院旭山大居士ト謚ス太政大臣從一位ヲ

贈ラ ○**厚照** 孝宗ノ子ナリ 是ヲ武宗トス ○**實隆** 内大臣公保ノ子ナリ永正三年内
大臣ニ任シ天文六年薨ス

○**澄元** 政元ノ養子ニシテ實ハ義春ノ子ナリ 永正十七年六月歿ス年三十二 ○**三好長輝** 其先ハ清
和源氏ニ

メ小笠原氏ヨリ出ツ信濃守義長ノ孫ナリ義澄ニシテ澄元ヲ以テ管領トシ自ラ
政事ヲ執ル後髮今削リテ希雲ト称ス大内介ト戰ヒ敗レテ百万遍ニ自殺ス

○**長光** 長輝ノ子ナリ 父ト同ク死ス ○**長則** 全上 ○**卜部兼俱** 大職官鎌足
ニシテ

孫神祇権大副從二位兼名ノ子ナリ世々吉田ノ祠官トナリ神祇長上ニ任ス兼俱
陰ニ釈教ヲ信シテ陽ニ神道ヲ説キ祝禱ヲ用ヒテ俗ヲ惑ス其弊今ニ傳フルト云

○**義植** 初メ義材トイフ義親ノ子ニシテ義政ノ養子ナリ長亨元年從五位下
左馬頭ニ叙任ス二年義政薨ス從四位下ニ叙シ右近工中将征夷大

將軍ニ任シ参議ヲ兼ネ明徳元年六角高頼ヲ討チ二年畠山政長ヲ討チ細川政元
政長ノ援兵タリ義材ヲ捕ヘ之ヲ家臣某ノ宅ニ幽ス既ニノ密ニ逃レテ周防ニ赴

キ大内義興ニ依ル政元義通ヲ立テ主トナス文龜元年官爵ヲ削ラルル名ヲ義尹ト
改ム三年政元弒セラレ、ヲ以テ五年上洛シ從三位ニ叙シ権大納言ニ任シ再ヒ

征夷大將軍トナル冬從二位ニ叙ス七年近江ヲ征シ軍敗レテ歸ル明年義澄近江
ニ薨ス細川氏兵ヲ卒ヒテ上ル義尹丹波ニ奔リ既ニノ軍ヲ卒ヒテ上洛シ政賢ヲ

丹岡山ニ誅ス十年近江ヲ攻テ克タス京ニ歸ル今ノ名ニ更ム十六年兩院別当氏
長者ニ補ス大永元年淡路ニ奔ル世ニ島ノ公方ト云フ十二月職ヲ罷メ三年阿波

二薨ス惠林院ト号ス天文四
年太政大臣位ヲ贈ラル
大臣ニ
○北條早雲ホウジウサウウン父ヲ行長ト云フ名ハ長氏俗ニ伊勢新九郎ト称セリ延徳元年剃髮シテ早雲ト号ス

香カ右大臣公敦ノ子ナリ永正四年内大臣十二年右大臣十五年左大臣大永元年辞シ天文四年太政大臣五年辞シ六年剃髮ス

三好長慶ノ子ナリ永禄三年父ニ代テ上洛シ新館ヲ作り將軍ヲ請ス是ヨリ父子大ニ威ヲ振フ嘗テ松永久秀ノ專横ヲ惡ミ之ヲ誅センヲ欲ス久秀之ヲ聞キ遂ニ之ヲ醜

殺ス
○高國カクニ澄元ノ養子ニシテ實ハ政春ノ子ナリ澄元ノ実子晴元ト撰及尼崎ニ戦ヒ殺サル時二年四十八

晴ハル義澄ノ子ナリ義植養テ子トス大永元年上洛シテ從五位下ニ叙シ尋テ正五位下ニ進ミ元服シ征夷大將軍ニ任ス時二年十一官位

累進シテ權大納言右近工大將從三位ニ至ル享禄十九年宍生ノ山中ニ薨ス年四十法名道照道号擘山万松院ト号ス左大臣從一位ヲ贈ラル

素ソ卿ケイ鄞人朱縞ナリ帰化シ宋素卿ト云フ義澄ニ仕フ嘗テ明ニ使タル片義興ノ使京設ト争ヒ遂ニ明人ノ為ニ殺サル

○植家ウヅケ關白尚通ノ子ナリ大永二年右大臣享禄元年右大臣天文五年再ヒ關白トナリ六年太政大臣ニ至リ永禄五年薨ス年六十六

光ミツ權中納言顯兼ノ子ナリ准大臣ニ任ス大永六年薨ス年五十一内大臣ヲ贈ラル

○日野内光ヒノウチミツ權中納言政資ノ子ナリ實ハ相国実淳ノ子官權大納言タリ大永七年討死ス元大臣ヲ贈ラル

御奈良天皇部
地名 ○桂

氷ヒ一名大堰川ト云山城嵯峨ニアリ

○杜瓦爾國トワニ歐州ニアリ即チポルトガル

○喜連川キヅノ下野國

○山口ヤマギチ周防國

○小豆坂アヅキサカ河國

○種島タネガシマ大隅國

○鹿谷シカヤ山城國

○江口エグチ攝津國

○津田邑ツジタ近江國

○吉良大濱キラノオホハマ三河國

○古渡フルワタリ尾張國

○如意嶽ニヨイカダケ山城國東山ナリ

○穴太アナタ近江國

○松本マツモト全上

○桔梗キキョウ原ハラ信及

○宮陵ミヤノリ吉田城ヨシダノシロ安藝國

○富田城トミダノシロ出雲國

○北白川キタシラカワ山城國

○真如堂マニョウドウ全上

○中島城ナカシマノシロ攝津國

○江波城エナミ全上

○三宅城ミヤケノシロ全上

○平井城ヒライノシロ上野國

人名 ○藤子フジコ贈右大臣教秀ノ女ナリ豊樂門院ト号ス

○三好長基ミヨシナガモト希雲ノ子ナリ剃髮シテ海雲ト云フ筑前守タリ細川晴元管領タルニ及ンテ屢諫問ヲナス晴元之ヲ惡ミテ遂ニ害ス

○義隆ヨシタカ義興ノ子ナリ剃髮シテ海雲ト云フ筑前守タリ細川晴元管領タルニ及ンテ屢諫問ヲナス晴元之ヲ惡ミテ遂ニ害ス

役三位義興ノ子ナリ西国兵馬ノ權ヲ有シ防洲山口ニ住ス富饒ニノ驕僭三公ニ過ク天文五年即位ノ資ヲ獻シテ從二位ニ叙セラレ太宰大貳トナル天文二十年其家令陶晴賢ノ

○晴信 武田信虎ノ子ナリ父信虎性偏ニ晴信ヲ惡シテ為ニ自殺ス 庶子信繁ヲ立ント欲ス晴信乃其婚令川義元ト相謀リ信虎ヲ駿府ニ追ヒ甲府ヲ領ス國中皆畏服ス而ノ暫ク政更ニ急リ声色ヲ愛ス板垣信形之ヲ諫ム信虎悔テ兵ヲ揀リ士ヲ養フ三十一才ノ片祝髮ノ法性院

○義元 修理大夫氏親ノ子ナリ永祿二年信長尾州ヲ領ス独リ知多ノ一郡ノミニ和成ル陷城畧取勝ヲ計フ可カラズ天正元年四月卒ス年五十三 今川

○氏康 北条早雲ノ孫氏綱ノ子ナリ上杉憲政ト連戦スル數歲天文十四年ス 憲政 山内上杉ト称ス顯定ノ養子ニシテ實ハ憲房ノ子ナリ北条氏康ト數々戦ヒ屢敗ル永祿元年川越ヨリ上州ニ支リ遂ニ越後ニ入り

○毛利元就 姓ハ大江氏父ヲ廣元ト云フ志氣宏洩雄略アリ享康ト戦ヒ 景勝ノタメニ害セラレ 上杉朝定 伊豆守重能ノ子ナリ扇谷 敗死ス 遂ニ十餘州ヲ領ス永祿三年正親町帝即位ノ資ヲ獻シテ從四位下ニ叙シ大膳大 夫ニ任セラレ菊桐ノ御紋章ヲ賜フ元龜二年六月卒ス年七十五

○陶晴賢 法名全善ト号ス世々大内氏ニ仕フ大内義隆軍吏ヲ總リ奢侈日之ヲ主ニ嗜ス義隆乃チ晴賢ヲ疎シ是ニ於テ忽チ自立ノ思ヲ狹之義隆ヲ殺シテ大友宗麟ノ弟ヲ立テ主トシ大内義長ト称ス弘治元年毛利元就ノ為ニ殺サル

○公條 内大臣実隆ノ子ナリ天文十年内大臣トナリ 房通 関白冬ナリ天文八年内大臣十年右大臣十一年左大臣十四年 義藤 將軍義晴ノ子ナ 四年関白弘仁二年薨ス年四十八唯心院ト号ス

○晴良 関白尹房ニスルヲ惡之密ニ之ヲ圖ル五月却テ二人ノ為ニ自尽ス 晴良 関白尹房年三十六法名道円融山ト号ス左大臣從一位ヲ贈ラル

○織田信長 信秀ノ子ナリ幼天文二十年陶晴賢ニ擁立セラレ弘治元年 織田信長 信秀ノ子ナリ幼 毛利元就ト戦ヒ敗レテ長門ニ自殺ス 名吉法師トイフ

○義長 大友宗麟ノ子ナリ天文十四年内大臣トナリ十五年右大臣十六年左大臣十七年 義長 大友宗麟 七年関白永祿十一年再ヒ関白天正七年薨ス年五十四 名吉法師トイフ

○織田信長 信秀ノ子ナリ幼幼ニノ兵馬ヲ事トシ長スルニ及テ將帥ノ量アリ永祿中今川義元ヲ破テヨリ兵 威日ニ強大ナリ風ニ詔ヲ奉シテ宮室ヲ營シ輦下ヲ肅清シ欠典ヲ與シ之絶ヲ繼

○義長 大友宗麟ノ子ナリ天文十四年内大臣トナリ十五年右大臣十六年左大臣十七年 義長 大友宗麟 七年関白永祿十一年再ヒ関白天正七年薨ス年五十四 名吉法師トイフ

○義長 大友宗麟ノ子ナリ天文十四年内大臣トナリ十五年右大臣十六年左大臣十七年 義長 大友宗麟 七年関白永祿十一年再ヒ関白天正七年薨ス年五十四 名吉法師トイフ

長乃千軍ヲ西シ途京師ニ入り本能寺ニ舘ス逆臣光秀ノ為ニ弒セラレ年四十九
實ニ天正十年六月二十日ナリ總見院泰岩ト号ス太政大臣從一位ヲ贈ラル鳴呼國
ノ廢與存亡ハ天ニアリト雖モ一朝逆臣ノ為ニ此難ニ罹ル惜イカト明治三年十
月朝廷功ヲ追賞シテ建勲神社ノ号ヲ賜ヒ祠ヲ京都紫野舟岡山ニ營シテ別格官
幣社ニ列セラレ

○長尾景虎 梶原景時ノ裔ニシテ為景ノ子ナリ憲政ノ讓
ヲ受ケテ上杉氏ヲ稱ス管領ニ任シテ世々
誠後ニアリ武ヲ以テ聞ユ義輝偏諱ヲ賜フテ輝虎ト改ム少ニメ英オアリ年十四
ノ片與羽ノ諸州ヲ經歷シ山川ノ險易民俗ノ臧否ヲ視テ歸ル人以テ良將ノ器ト
ス武田信玄ト兵ヲ川中島ニ交ユル一三回雄ヲ以テ鳴ル ○朝倉義景 左
門教景ノ子ナリ文明永祿ノ間濃州ノ齊藤ヲ助テ屢信長ト戰フ天正年間淺井ニ
党ノ信長ヲ討ントシ近江ニ出陣シテ遂ニ敗北シ其家令景鏡ニ殺サル

○松永久秀 阿州ノ人ナリ三好長慶ニ仕ヘテ軍功アリ信長勅與ニ及テ
一タビ幕下ニ降リ後叛シ信長乃チ之ヲ討ス久秀子久通ト
共ニ晴嗣 關白植家ノ子ナリ天文十六年内大臣ニ任シ二十二年右大臣
亡フ ○宇喜田直家 備前ノ人ナリ小止ヨリ武畧ニ長ス遂ニ備作播ノ
十八 諸州ヲ領ス秀吉西征ノ片早ク歸降ス秀吉其志ヲ

稱シテ其國ヲ安堵セシム

官職

○大外記 相當心 六位上

○太宰大貳 相當從 四位下

○彈正忠 大少アリ相當大忠正六 正親町天皇部 地名

○勝軍山 山城 國 ○清州 尾張 國 ○小牧山 全上以下 國 ○丸根 國

○桶狭間 國 ○鷺津 國 ○小田原 相州 國 ○上毛 上野 國 ○川 國

○中島 信州松島ノ北千曲川ト犀川ト 國 ○西條山 信州以下 國 ○雨宮 國

○廣瀨 國 ○犀川 國 ○飯盛 河内 國 ○白鹿 出雲國以下 國

○熊野 國 ○洗合 國 ○稻葉山 美濃 國 ○岐阜 全上 國 ○富田 雲 國

○夷川街 京都竹屋町 國 ○月山 出雲 國 ○傾田 摂津 國 ○苗木 國

○宇和島 伊豫 國 ○伊丹 摂津國以下 國 ○茨木 國 ○高槻 國

○有馬 國 ○稻寺 國 ○白井碓 國 ○和田 近江國以下 國 ○觀 國

○音寺山 國 ○甲賀山 國 ○日野 國 ○青龍寺 山城 國 ○池田 攝 州

○芥川上 ○越木全上 ○高屋河内 ○本國寺京師五

堀川西 ○小谷近江 ○懸川遠江 ○清見寺駿河 ○大井川大井

駿遠界 ○見附遠江 ○薩薩駿州以下 ○沖津駿河 ○蒲原蒲原

○妙覺寺京師 ○淺香伊勢以下 ○大河内大河内 ○船江船江

○三增相州 ○小山遠江 ○萃澤駿及 ○高天神遠江

○布辨出雲 ○赤次全上 ○新山全上 ○手筒山越前

○千草越近江 ○姊川近江 ○益須全上 ○野田攝津

願寺所同 ○福島所同 ○浦井所同 ○天満所同 ○天王寺所同 ○石山本所同

○醍醐山城以下 ○山科山城 ○將軍塚山城 ○鑊羽山城

○横山全上 ○吉田安藝 ○末石出雲 ○新山美作

○新村近江以下 ○小川近江 ○大撞近江 ○石山山城 ○堅田山城

○相坂山城 ○長岡山城 ○諏訪湖信州 ○榎島山城

○水戸近江 ○田中全上 ○澱山城 ○月湍近江以下

○余吾湖近江 ○丁山近江 ○刀根近江 ○敦賀越前以下

乘谷近江 ○亥山近江 ○鯨江近江 ○石部全上 ○幡多土佐

○稚江攝津 ○西形尾張 ○別所伊勢以下 ○片岡尾張

○長島攝津 ○多田全上 ○三田全上 ○篠橋伊勢以下

○鳥井尾張 ○矢島尾張 ○中江尾張 ○小田尾張 ○松樹渡全上

○象市因州 ○鳥羽全上 ○松山備中 ○鞆備後 ○長篠長篠

○田丸伊勢 ○三瀨全上 ○安土近江 ○貝塚和泉

○雜賀紀伊 ○信貴河内 ○片岡全上 ○姫路播州以下五外全之

○吳着 ○安栗 ○佐用 ○上月 ○阿閑 ○春

日山越後 ○北川全上 ○三木播平国以下六外全之 ○根山

○高倉山 ○熊川 ○書寫山 ○神吉 ○志方

○八幡備前 ○岡山全上 ○高城川日向 ○淡河播平

○丹生山全上 ○箕面摂州 ○龜山丹波 ○羽衣石伯州

○長瀬川全上 ○尼崎摂州 ○能勢全上 ○竹田但馬

○兒島備前 ○鹿野因幡 ○出石但州 ○鳥取因州

○立花筑前 ○岩屋全上 ○丸山因州 ○田邊丹波

○馬山伯州 ○鵜山全上 ○鷹瀬川肥後 ○福島信州

○鳥居嶺信州以下八外同之 ○岐蘇 ○瀧澤 ○松尾 ○飯田

○小山 ○桔梗原 ○大島 ○飯島 ○雀瀬甲斐

○天目山全上 ○淡合信州 ○冠山備前国以下四外全之 ○宮地

城 ○高松 ○龍王山 ○不動山 ○本能寺京師京極姊小路ニ迂リ天正十五年之ニ迂ス

○天王山山城 ○青龍城全上 ○小栗栖全上 ○長濱

近江国以下三外全之 ○山本 ○膽吹山 ○柳瀬 ○鉈川上野

○中富川阿波 ○勝瑞全上 ○大徳寺京師紫野 ○寶寺

○篠山伊勢 ○木本近江 ○賤岳全上 ○大垣美濃

下三所 ○祿川 ○清水岐 ○核山 ○府中越前 ○内

全之

海尾張 金山 美濃 原 肥前 安德 筑後 長久手 尾

羽津 伊勢国以下 桑名 矢田 磯 根來寺 紀伊国

千石港 岡山 稚山 和氣 阿波 一宮

木津 全上 八島 讚岐 栗柯嶺 越中 富山 上

絲魚 越後 高取 大和 須本 淡路 高遠 信州

八白 肥後 岩屋 筑前 人名 秀吉 父筑阿弥 日

吉ト名ク幼ニノ穎悟長ノ個儻ハオノ片父母之ヲ全國光明寺ニ托ノ僧タラシム
日吉敢テ学ハズ曰僧ハ乞人ノ伎此乱世ニ生レ豈乞人ヲ学フコトヲナサンヤト
身行ヲ恣ニシ僧ヲノ己レヲ厭ハシメントス僧遂ニ之ヲ還ス十六オノ片松下之
細ニ仕フ之細金ヲ与ヘテ兵器ヲ買ハシム日吉乃チ叔父ト計リ其金ヲ以テ衣刀
ヲ買ヒ自ラ木下藤吉郎秀吉ト称シ往テ信長ニ仕フル後恩顧殊ニ甚シク既ニ
ノ柴田勝家丹羽長秀ノ勇武ヲ慕ヒ姓ヲ羽柴ト更ム所々ノ攻城夜戦或ハ先登或
ハ殿シソノ勲功奉テ數フ可カラズ(長久手ノ戰)天正十年逆臣光秀ヲ誅シテヨ
リ兵威益強大トナリ明年滝川一益ヲ破リ柴田ヲ屠リ信幸ヲ斃シ大坂城ヲ築テ

居ル十二年信雄ト鋒フ年ヒ終ニ和シ十三年累進ノ正二位内大臣トナル是年根
末熊野高野ヲ伐チ四国ヲ平均ス七月關白從一位ニ任叙シ姓ヲ豊臣ト賜フ尋ニ
北国ヲ徇ヘ十四年太政大臣ニ任ス既ニノ島津家ヲ撃チ十六年幸ヲ聚樂第ニ
請ヒ諸大名ヲ會シテ盟ヲ行フ十八年北条ヲ斃シ與羽ヲ平ケ十九年關白ヲ秀次
ニ讓リ文祿元年ヨリ朝鮮ヲ征シ自ラ肥前名古屋ニ居テ之ヲ指揮ス是年秀次ヲ
ノ自殺セシメ二年明ト和シ既ニノ破レ再ヒ征韓ス慶長三年伏見城ニ薨ス年
六十三明年豊国神社ノ号ヲ賜フ近時祠ヲ
東山ニ營シテ別格官幣社ニ列セラレタリ ○前嗣 關白植家ノ子ナリ天文
二年右大臣廿三年關白元永祿五年名ヲ前久ト更ム
天正十二年太政大臣ニ至ル慶長十七年薨ス年七十八 ○長宗我部元

親 元国ノ子ナリ剛勇比ナク武名アリ土州ヲ領シ南海道ヲ蚕食シ四国ヲ劫畧
シ阿州ヲ平治スヲ正十三年秀吉三降ル秀吉乃チ土及ヲ与ヘ押領ノ數國ヲ
收ム元親上洛ノ侍從ニ任ス ○義榮 義澄ノ孫ナリ永祿十一年征夷大
將軍ニ任セラレ同年薨ス
○義昭 義晴ノ子ナリ初メ南都一乘院ノ門主トナリ名ヲ覺慶ト云フ永祿
十一年從四位下允近工中將ニ叙任シ征夷大將軍ヲ繼ク十二年權大納言ニ任シ
從三位ニ叙ス天正元年信長ノ為ニ宇治ニ從リ夫ヨリ堺津及ヒ紀州諸國ニ流浪
シ慶長二年薨ス年六十一足利將軍建武二年ヨリ永祿八年 ○周嵩 義晴ノ
マテ十三代(義昭ヲ除ク)二百三十一年ニシテ亡フ

五車 樓 辛

幼ニノ鹿苑寺ノ門主トナル永祿八年 ○載屋 明世宗ノ子之

信秀ノ子ナリ高天神城ヲ拔キ參東ノ地ヲ畧ス後跡部長坂 ○中川清秀

瀨兵衛ト稱ス始メ荒木村重ニ屬シ和田惟政ト戰テ大ニ之ニ勝ツ後信長ノ麾下

盛政ト戰テ死ス ○柴田勝家 戰争ニ屢功アリ信長賞シ越前ニ封ス

七洲ノ軍士ニ魁タリ天正十一年秀吉ト志津岳 ○晴良 關白尹房ノ子ナリ

十五年右大臣十六年九大臣十七年關白永祿 ○氏政 元文十四年内大臣

國ヲ領ス壯ヨリ苦戰シテ西野郡内ノ地及ヒ常州四郡ヲ劫畧シ又信州ノ小室上

リ元龜二年佐竹義重ト戰テ常州四郡ヲ取り天正元年下總關宿城ヲ圍ミテ城主

五十 ○信雄 信長ノ二子ナリ茶釜御曹子三郎殿ト稱シ具豐トイフ北畠中

叙任ス後秀吉ニ抗スルヲ以テ死々ニ流寓シ難髮シテ ○輝元 毛利隆元ノ

二年祖父元就ノ家ヲ嗣ク藝防長石雲隱備伯谷半國ヲ領ス從三位中納言ニ進ム

慶長六年長洲被ニ城キテ是ニ居ス寛永二年四月卒ス年七十二

○隆景 秀吉執前ヲ与ヘ二十三万六千余石ヲ食ム天正十六年侍從ニ任シ

ノ子ナリ新九郎ト稱ス勇武威ヲ江濃ノ間ニ震フ信長妹ヲ以テ之ニ嫁ス信長ノ

朝倉氏ヲ征スルヤ長政朝倉氏ニ堅約アルヲ以テ之ニ与シ信長ト江越ノ間ニ戰

フ後遂ニ父ト共ニ信長ニ殺サレ族滅ス ○信孝 信長ノ子ナリ三七郎ト稱

取走シテ尾州 ○明智光秀 濃ノ人ナリ信長ニ仕ヘテ勇切アリ滋賀郡ヲ

ヲ殺シ將ニ自立セントス秀吉之ヲ討ス光秀兵敗レテ奔ル途小 ○忠興 兵

栗栖ヲ過ギ土民ノ為ニ殺サル天網恢々疎ニノ不漏ト信ナル哉

大補藤孝ノ子ナリ信長丹後田辺城ヲ賜フ後秀吉ニ仕ヘテ功勞アリ十一万石ヲ

食ミ羽柴氏ヲ冒ス天正十三年從四位下侍從ニ叙任シ慶長元年進ニテ從三位參

議ニ至ル五年家康功ヲ賞シテ豊前ノ中津及ヒ豊後ノ六万石杵築白杵ノ二城ヲ

加増ス十四年中將ヲ兼ネ元和ノ始大坂ノ役ニ功アリ五年退居ノ三齊ト号ス正

保二年十二月 ○前田利家 利昌ノ子ナリ幼名犬丸又孫四郎ト云フ信長

卒ス年八十三 二仕フ元龜ノ始大坂ノ役ニ抽功アリ天正三

年越前府中ノ城主トナリ十一年能登ヲ討ツ秀吉名字ヲ讓リテ羽柴筑前守ヲ稱
セシム十三年依々成政ヲ降ス官大納言ニ至リ從三位ニ進ム慶長四年三月薨ス

年六〇 兼孝 カネタカ 植通ノ子ナリ天正二年右大臣ニ任シ四年左大臣六年關白ニ
至リ慶長三年准三后五年再ヒ左大臣關白寛永十二年薨ス年

八十四後月 〇 内基 ウチキ 兼冬ノ子ナリ天正三年内大臣四年右大臣五年左大臣
輪ト号フ 九年關白慶長十六年七月薨ス年六十四自淨心院ト号

〇 昭實 アキラカネ 晴良ノ子ナリ天正五年内大臣七年右大臣十二年左大臣十三年
關白慶長廿年再ヒ關白元和五年七月薨ス年七十二後中院ト号

〇 景勝 カゲカト 長尾政景ノ子ナリ謙信ノ養子トナル 謙信歿後三郎景虎ト嗣ヲ
争ヒ遂ニ之ヲ殺ス秀吉ノ片五老ノ員ニ加ハリ正三位中納言ニ

至リ清華ニ准セラル秀吉薨後石田三成ニ与シ家康ニ抗スルヲ以テ領
地ヲ削リ米沢ニ移サレ三十万石ヲ領ス元和元年三月薨ス年六十九 〇 長

治 チ 父ヲ安治ト云フ秀吉西征ノ片 〇 實枝 サネエダ 右大臣公條ノ子ナリ初メ一澄
三木城ニ據リ遂ニ殺サル 〇 秀長 ヒデナガ 秀吉ノ弟ナリ權大納言從二位ニ至ル和泉紀三

月内大臣トナリ同 〇 誠仁 マコトニ 正親町帝ノ皇子ナリ永祿十一年親王宣下アリ天正十四年七
月薨ス年六十九 〇 信忠 ノブタカ 信長ノ長子ナリ秋田城介正三位中將ニ至ル天正十年逆臣光秀ノ

為ニ二奈新殿ニ自殺ス時二年二十六天雲院仙岩ト号ス

〇 義弘 ヨシヒロ 修理大夫義久ノ同母弟ナリ少名又四郎忠平ト稱ス兄義久子ナキ
ヲ以テ家ヲ嗣ク智勇父兄ニ過ク肥後筑後豊前後ヲ撃チテ遂ニ秀

吉ニ從フ文祿中朝鮮ノ役ニ功アリ依テ土地宝刀ヲ賜フ從四 〇 加藤清
位下侍從兵庫頭宰相ニ至ル元和五年七月卒ス年八十五 〇 嘉明 ヨシアキ 廣明ノ二子

正 マサ 幼名虎之助長ノ主計頭ト稱ス秀吉ニ仕ヘテ戰功アリ秀吉柴田勝家ト志津
岳ニ戰フ片大ニ敵ヲ破ル即チ七本槍ノ一人タリ後肥後守ニ任ス文祿中朝

朝鮮ノ役ニ功アリ石田三成及スルニ及テ小西行長ヲ 〇 嘉明 ヨシアキ 廣明ノ二子
守土ノ城ニ攻テ之ヲ滅ス慶長十六年六月卒ス年五十 〇 長重 ナガシゲ 長秀

ト稱ス秀吉ニ仕ヘテ志津岳七本槍ノ一人ナリ文祿中朝鮮ノ役ニ功アリ秀吉薨
ノ後家康ニ從フ元和元年進テ從四位下ニ叙ス會津ニ居リテ四十万石ヲ領ス寛

永三年待從ニ任シ八年 〇 片桐且元 カタキリカヅモト 肥後守直貞ノ子ナリ秀吉ニ仕ヘテ
九月卒ス年六十九 志津岳七本槍ノ一人ナリ秀吉薨ノ

秀賴ニ仕フ後關東及間ノ奇謀ニカヘリ疑ヲ蒙リ秀賴之ヲ殺 〇 長重 ナガシゲ 長秀
サントスルニ及テ關東ニ屬ス元和元年五月卒ス年六十

ナリ母ハ即信長ノ女從三位參議ニ叙任ス慶長五年石田三成ニ党シ封ヲ削ラレ
江戸芝ニ幽居ス大坂ノ役ニ功アリ十萬七千石ヲ領シ與州白川城ニ居ル十四年

三月卒ス 〇 晴季 ハルキ 左大臣公彦ノ子ナリ天正七年内大臣八年辭シ既ニ再
年六十七 〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津

ス年七 〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

〇 宗茂 ムネシゲ 左近將監鑑連ノ子實ハ高橋紹運ノ子ナリ永祿十四年島津
十九 義久ト戰テ名ヲ得タリ從四位下侍從ニ叙任ス秀吉薨ノ石

田三成ニ与シ三成亡テ柳川ニ居ル慶長中大坂ノ役ニ功アリ寛永十五年幕府ノ
余ヲ受テ島原ノ賊ヲ平シ尋テ祝髮シテ立齊道雪下号ス十九年十一月ホニス年七

官職

○大膳大夫 相当正五位上 ○右衛門佐 相当正五位上 ○兵

部大輔 相当正五位下 ○民部丞 大少アリ大丞相当正六位上 位下少丞相当正六位上 ○左馬允 相当正七位上

○左近將監 相当正六位上 ○修理大夫 相当正四位下 ○修理亮 相当正五位下

○主殿助 相当正六位上 ○大膳亮 相当正五位下 ○掃部助 相当正六位上

○内藏助 相当正六位下 ○侍從 相当正五位下 ○内膳正 相当正六位上 ○玄蕃

允 相当正七位下 ○兵庫頭 相当正五位上 ○主計頭 全上 ○東市正 相当正六位上

後陽成天皇部 地名 ○鶴崎 豊後国以下二所全之 ○馬嶽

○潤津 小倉 豊前 ○障子嶽 筑前 ○香春 全上 ○府

内 豊後 ○取川 日向 ○高城 全上 ○品石 筑前 ○財部

日向 ○赤石郡大藏谷 播州 ○高良山 筑後 ○千代川 薩州

○佐土原 日向 ○鹿児島 薩州 ○琉球 一名冲縄島トイフ往時

ス慶長十四年島津氏兵ヲ出シテ之ヲ討ツ以未本邦ニ服従ス 明治五年藩トナシ十三年更メテ縣ヲ置キ国王ハ華族ニ列ス ○中津 豊前

○來目 筑後 ○柳川 全上 ○博多 筑前 ○松任 加賀

○船坂 丹波 ○下毛 下野ニオナジ ○足利 下野 ○松前 渡島

○肅慎 一名女真後国名ヲ金ト号ス契丹ノ東北ニアリ ○桃山 山城国 伏見 ○宮陵 ○方

廣寺 京師東山ニアリ 一ニ大佛ト称ス ○大隈城 筑前 ○合子城 肥後 ○平佐

城 日向 ○聚樂第 内野ニアリシカ今ナシ旧跡 人名 ○新照

門院 諱晴子内大臣 晴秀ノ女ナリ ○晴秀 内大臣尹豊ノ子ナリ從一位大納言ヲ

○林氏 林左京亮ノ女ニメ岡掃部助ノ妻ナリ夫戰死ノ後 ○松永貞

徳ト初名勝熊ト云フ逍遙軒長頭元花咲翁等ノ号アリ和哥ヲ好メ九条植通及ヒ

月歿ス

官職

○

雅樂頭

相当従五位上

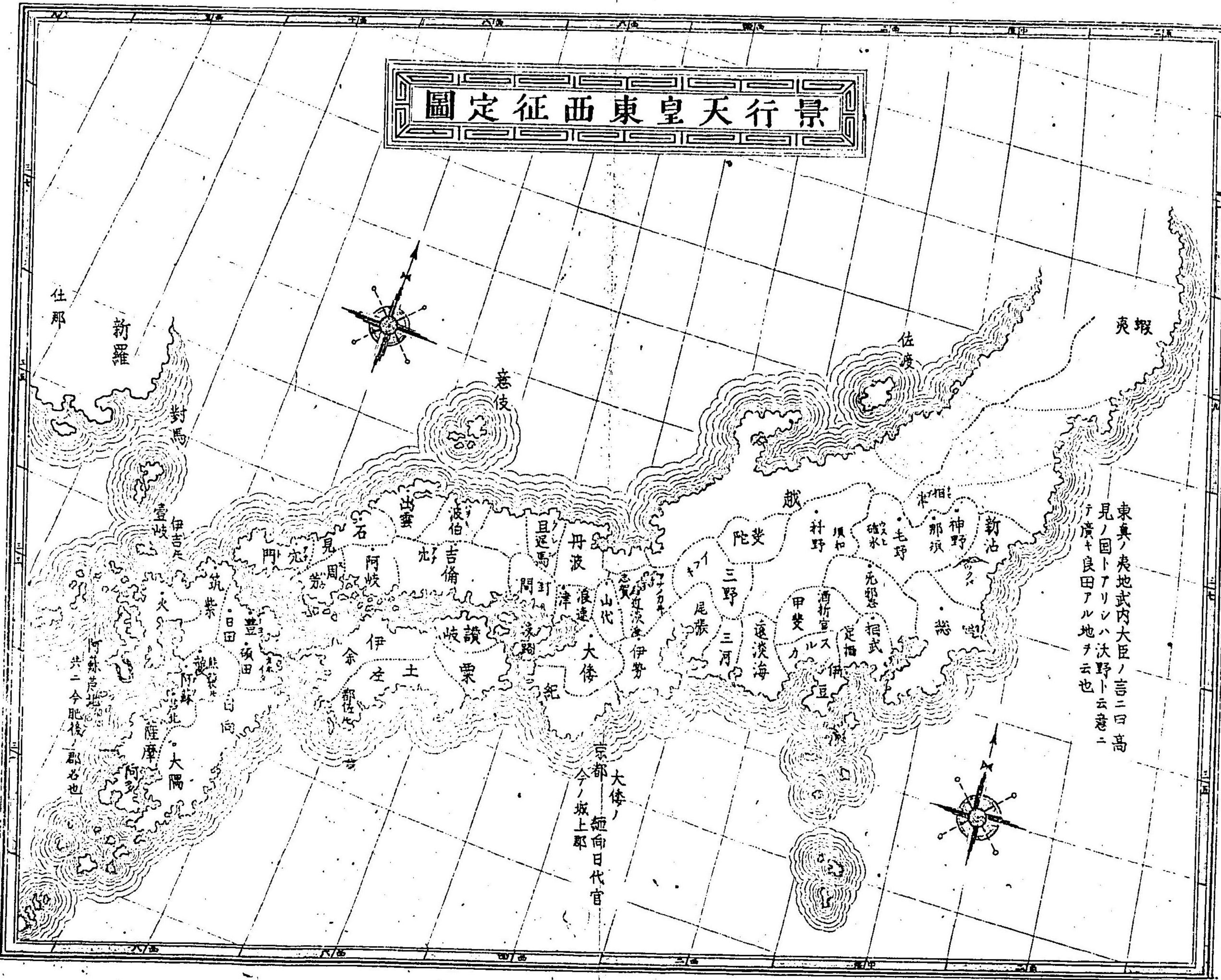
細川幽齋ニ学ブ晩年俳諧ヲ以テ著ル世ニ推テ祖トス後光明帝兼广二年九

神武天皇平定寰宇圖

近江國竹生嶋綠起云
 孝靈天皇二十五年湖水漲
 而此嶋頭出也云々然レバ
 此時嶋始テ現シ湖水ハ元
 ヲリ右之ト見ユ皇代記ニ
 出シハ後人ノ出入ナレバ
 コレ用ヒス



景行天皇東征西定圖

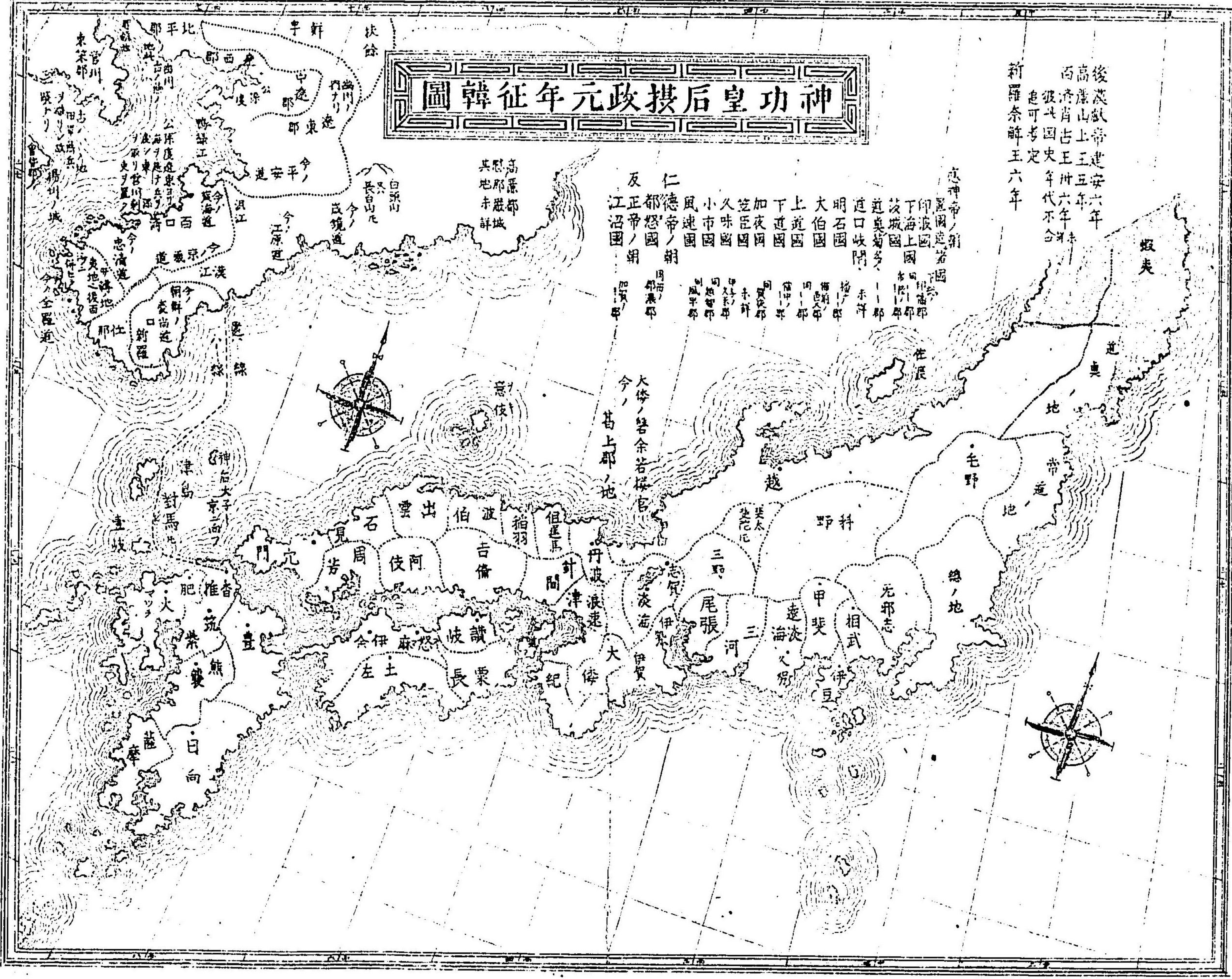


東夷ノ夷地武内大臣ノ言ニ曰高見ノ國トアリシハ沃野ト云意ニテ廣キ良田アル地ヲ云也

大倭
今ノ坂上郡

共ニ今肥後ノ郡名也

神功皇后元征韓圖

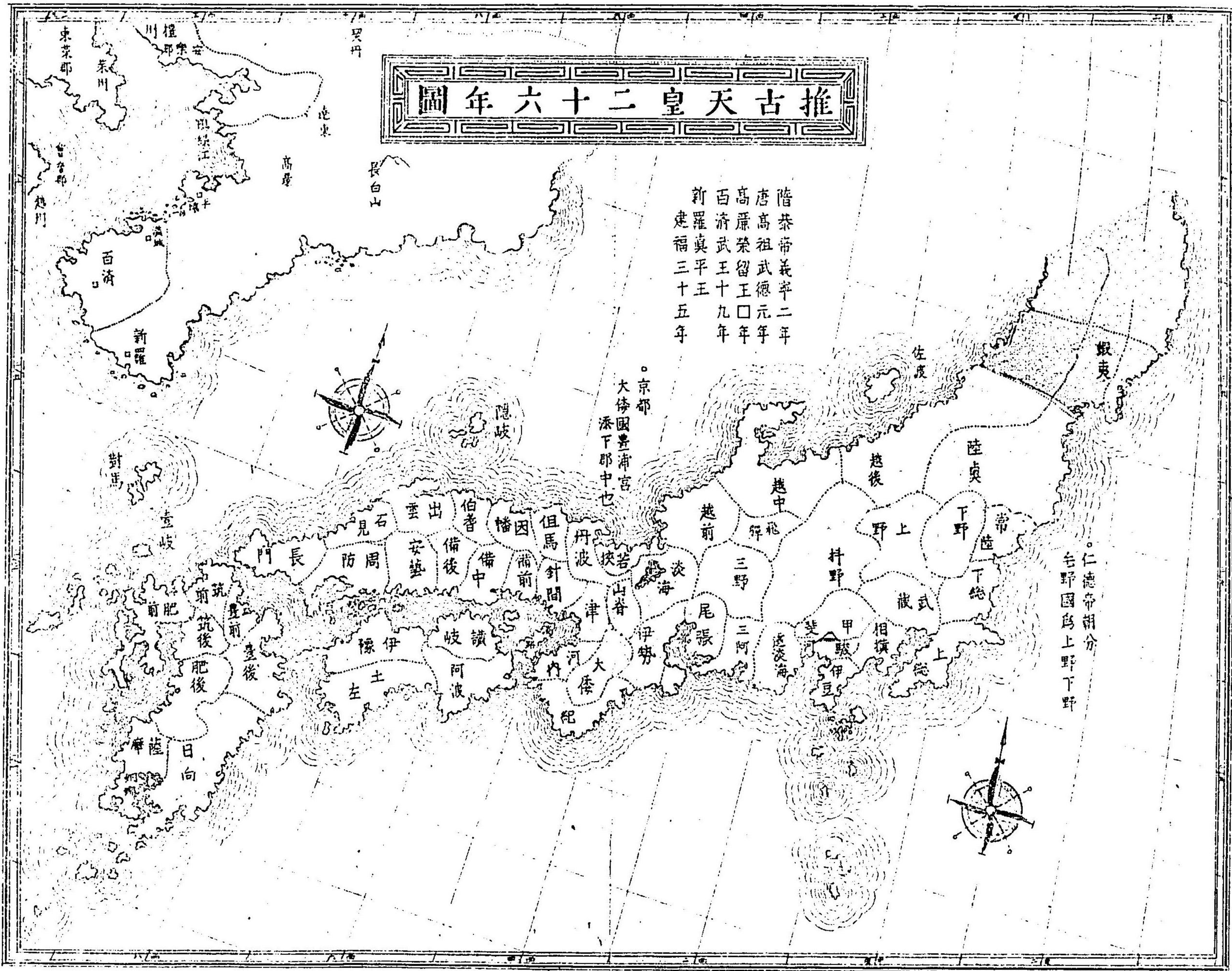


後漢獻帝建安六年
高麗山上王五年
百濟古王十六年
新羅奈解王六年

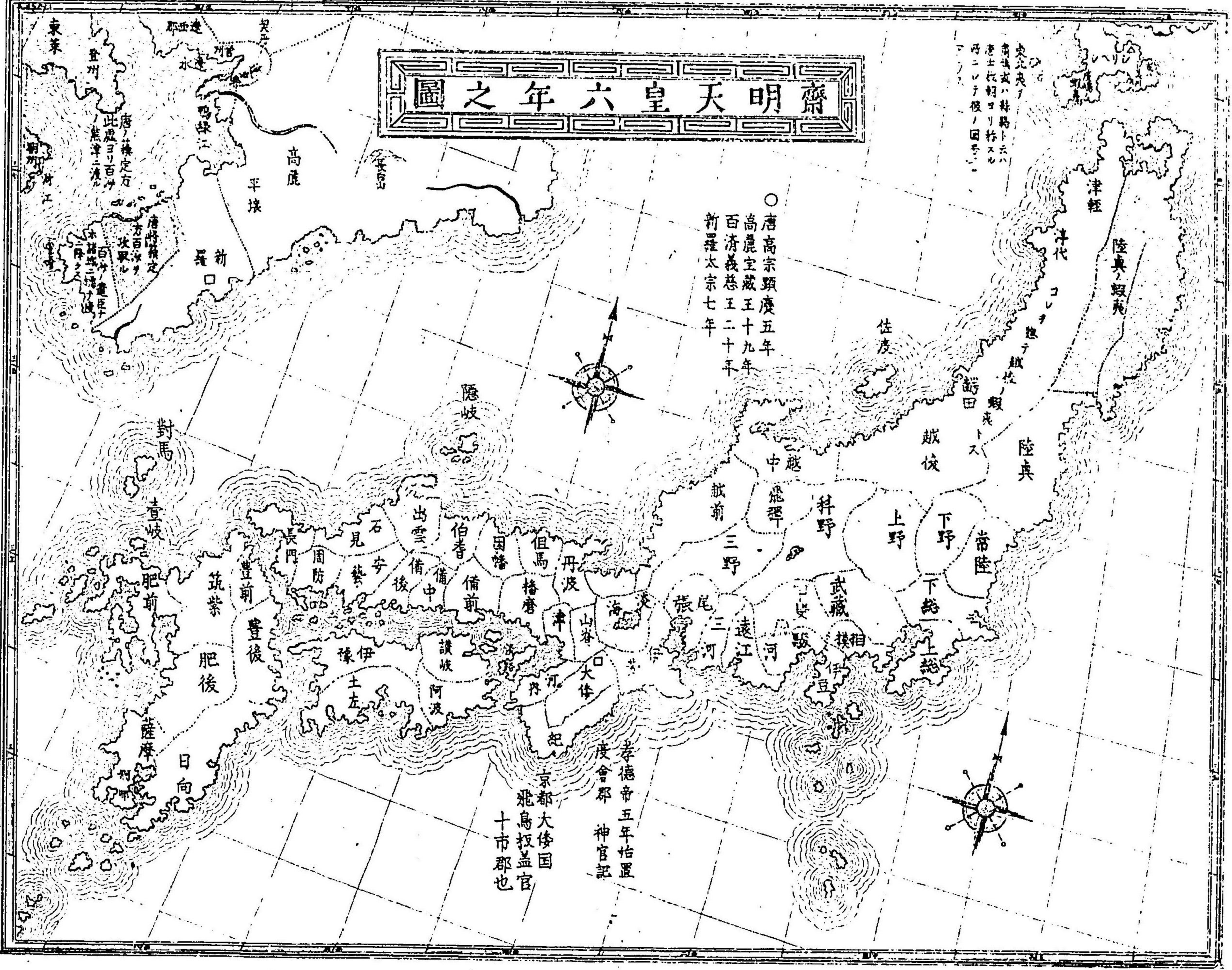
- 仁德帝/朝
- 都怒國
- 及正帝/朝
- 江沼國
- 風連國
- 小市國
- 久味國
- 笠臣國
- 加夜國
- 下道國
- 上道國
- 大伯國
- 明石國
- 道口岐國
- 近真多國
- 下海國
- 印波國
- 意神帝/朝

推古天皇二十六年圖

隋恭帝義寧二年
 唐高祖武德元年
 高麗榮留王口年
 百濟武王十九年
 新羅眞平王
 建福三十五年



圖之年六皇天明齊



元正天皇養鹿四季圖

按三石城石背ノ二國建
置ノ始ヲ書シテ廢セル
ノ景エス統紀聖三年閏
七月ノ条下ニ石城國ニ
始テ驛家ヲ置トアリシ
迄ナリ神龜五年四月新
ノ二陸奥白河ノ軍國ヲ
置トアレハ是ヨリ以前
ニ二國廢セルト見エタ
リ
天武天皇十四年ニ東海
東山等ノ諸道ノ名始テ
見エタリ此項ヨリ定マ
リシナルベシ
京都大德寺平城宮
天武天皇十三年壬辰十
月上五國田元五十餘万
頃没爲也

多岐嶋ヲ國トシ熊毛郡
ヲ置タル始未詳大室ノ
項ヨリ多祢ニ隸ス

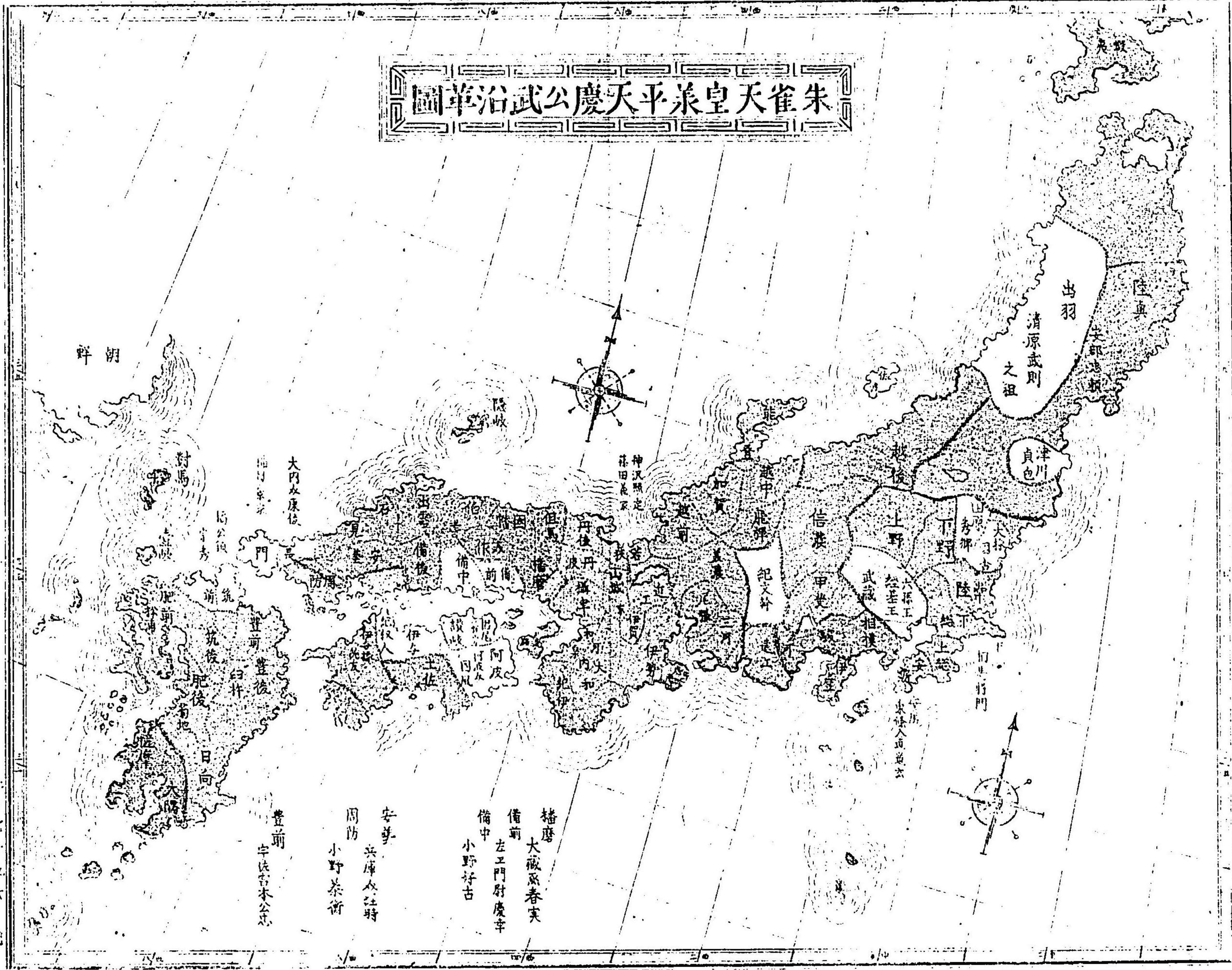


淳和天皇長元年國名全定圖



二一四十一

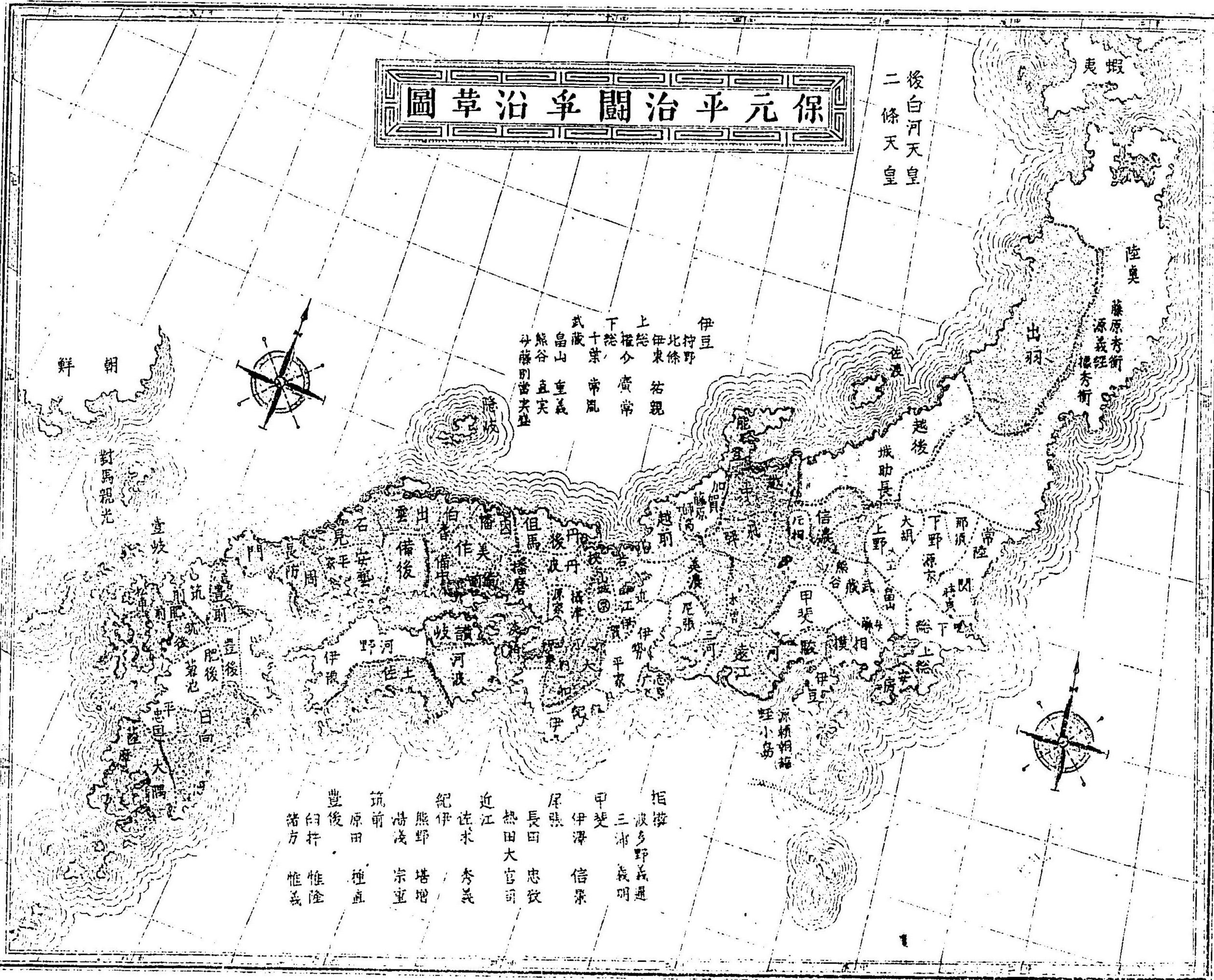
朱雀天皇平慶天公武治華圖



播磨 大藏丞春実
備前 左工門尉慶幸
備中 小野好古
安芸 兵庫众江時
周防 小野茶衛
豊前 宇佐吉本公亮

保元平治爭鬪草圖

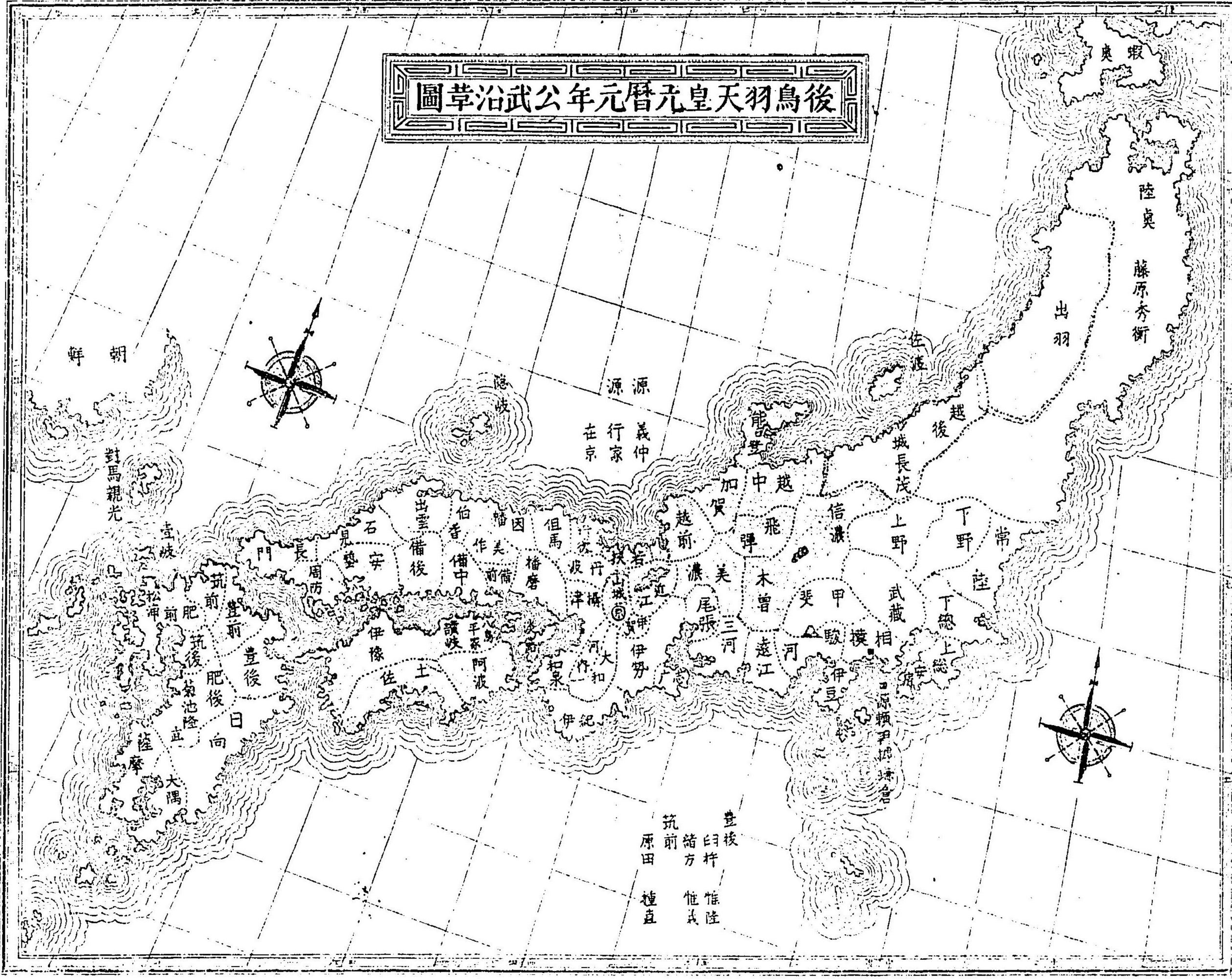
後白河天皇
二條天皇



伊豆 伊東 北條 堀河 上野 下野 武藏 相模 伊豆 伊東 北條 堀河 上野 下野 武藏 相模

拒攔 波多野義通 三浦義明 伊藤信康 長田忠致 近江 紀伊 熊野 湯淺 筑前 原田 豐後 諸方 惟隆

後鳥羽天皇元曆元年武治草圖

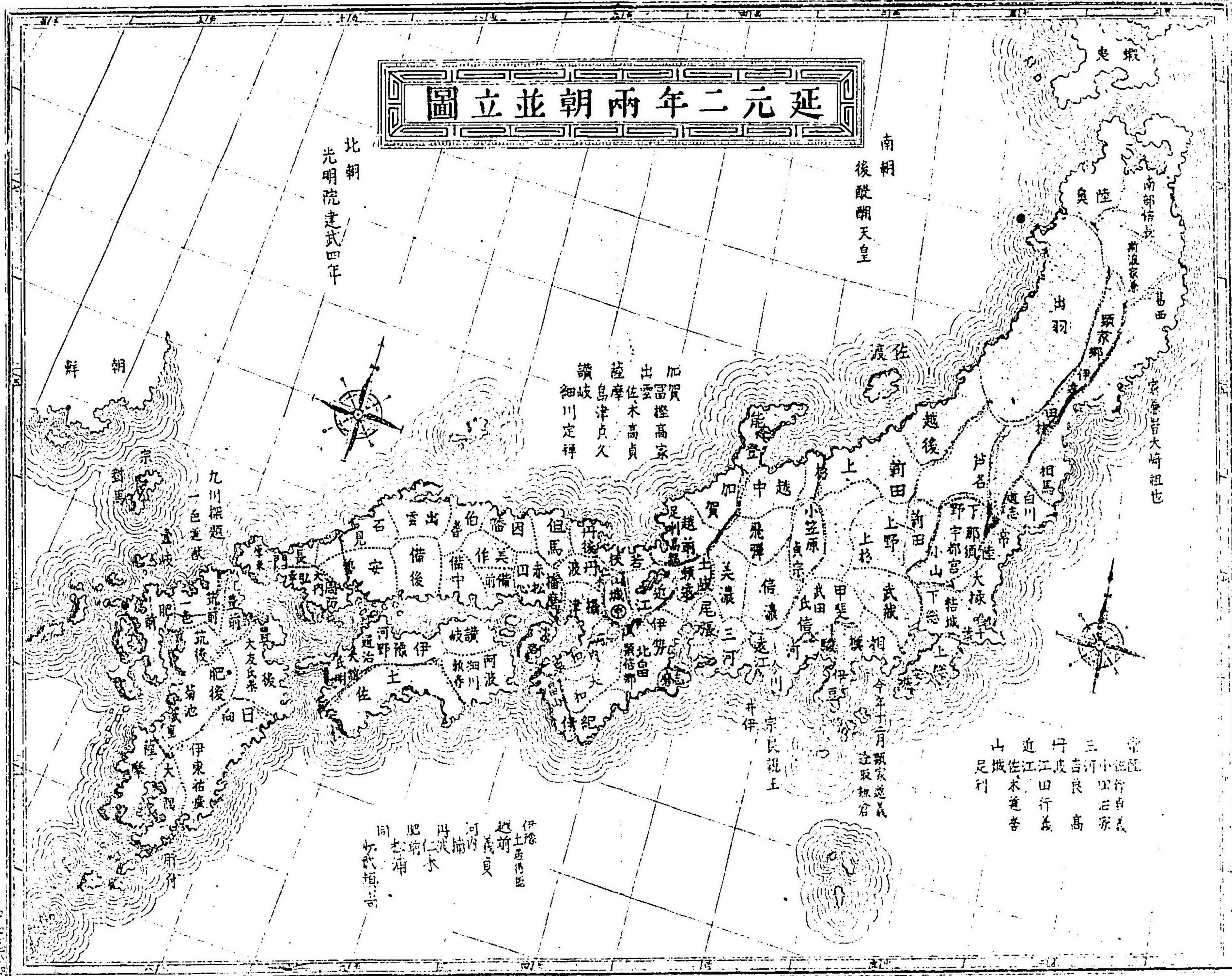


三十一

延元二年兩朝並立圖

南朝
後醍醐天皇

北朝
光明院建武四年



山近丹三常
足城江江吉小
利佐田田良河山
木道行行良山
蓮善義高家
寺義家

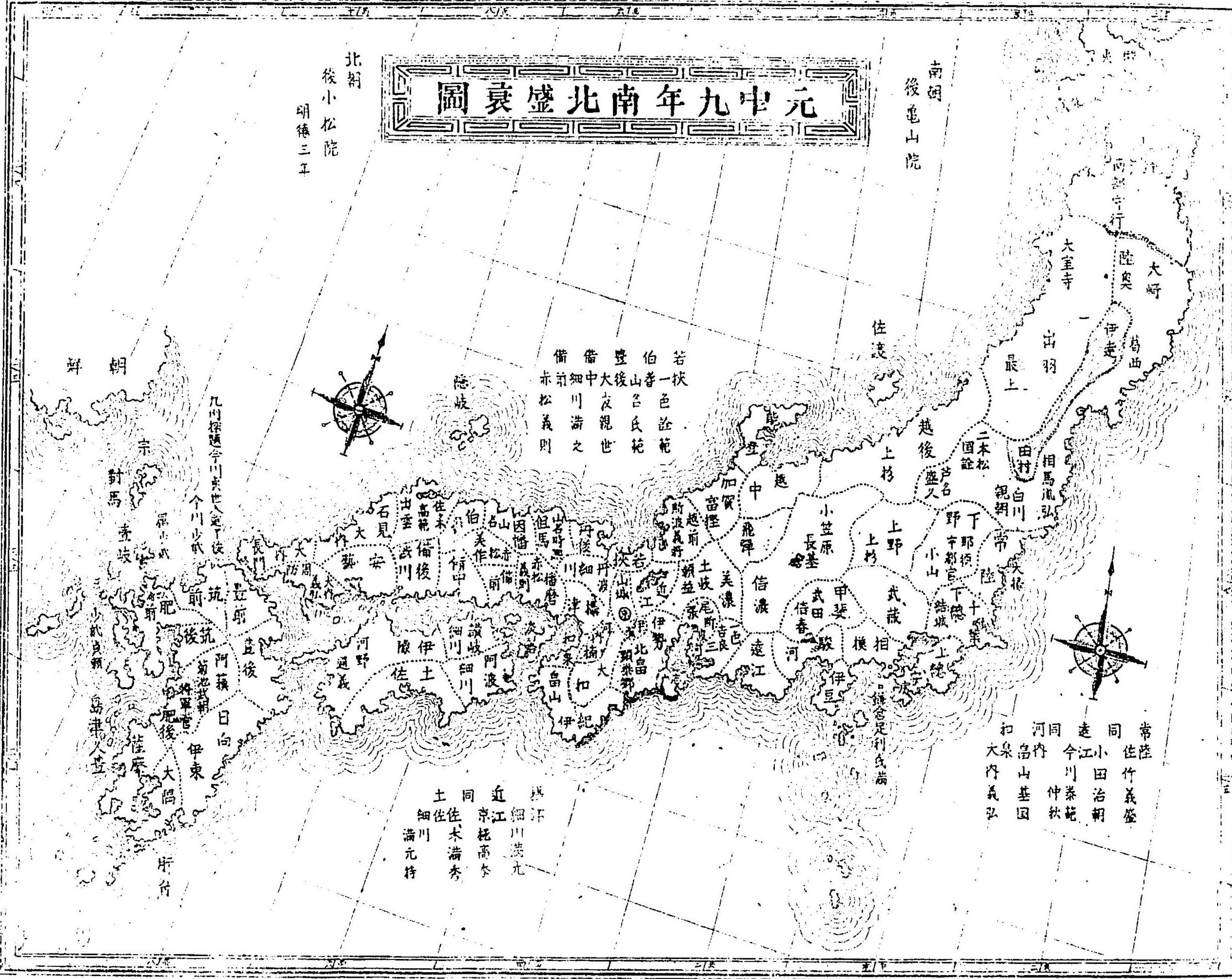
伊豫
土居
越前
河内
丹波
肥前
肥後
同

一月

元中九年南北盛衰圖

北朝
後小松院
明德三年

南朝
後龜山院



若扶一色詮範
伯山名氏範
豐後大友親世
備前川滿之
備前赤松義則

常陸佐竹義盛
同小田治朝
同江川義範
同今川義興
同河內仲秋
同大泉義弘

近江細川洪元
同京極高季
同佐木滿春
同土佐滿元

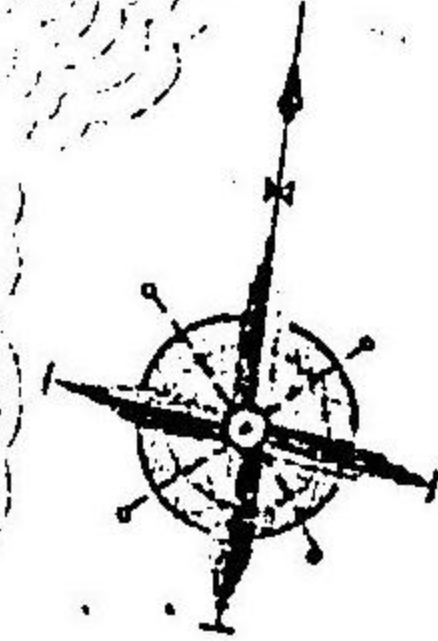
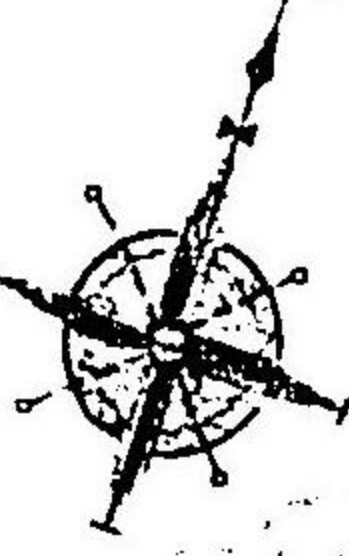
鮮朝

凡内探題今川兼世
今川少弐
宗對馬香坂
肥前肥後
日向
伊東
大隅
肝付

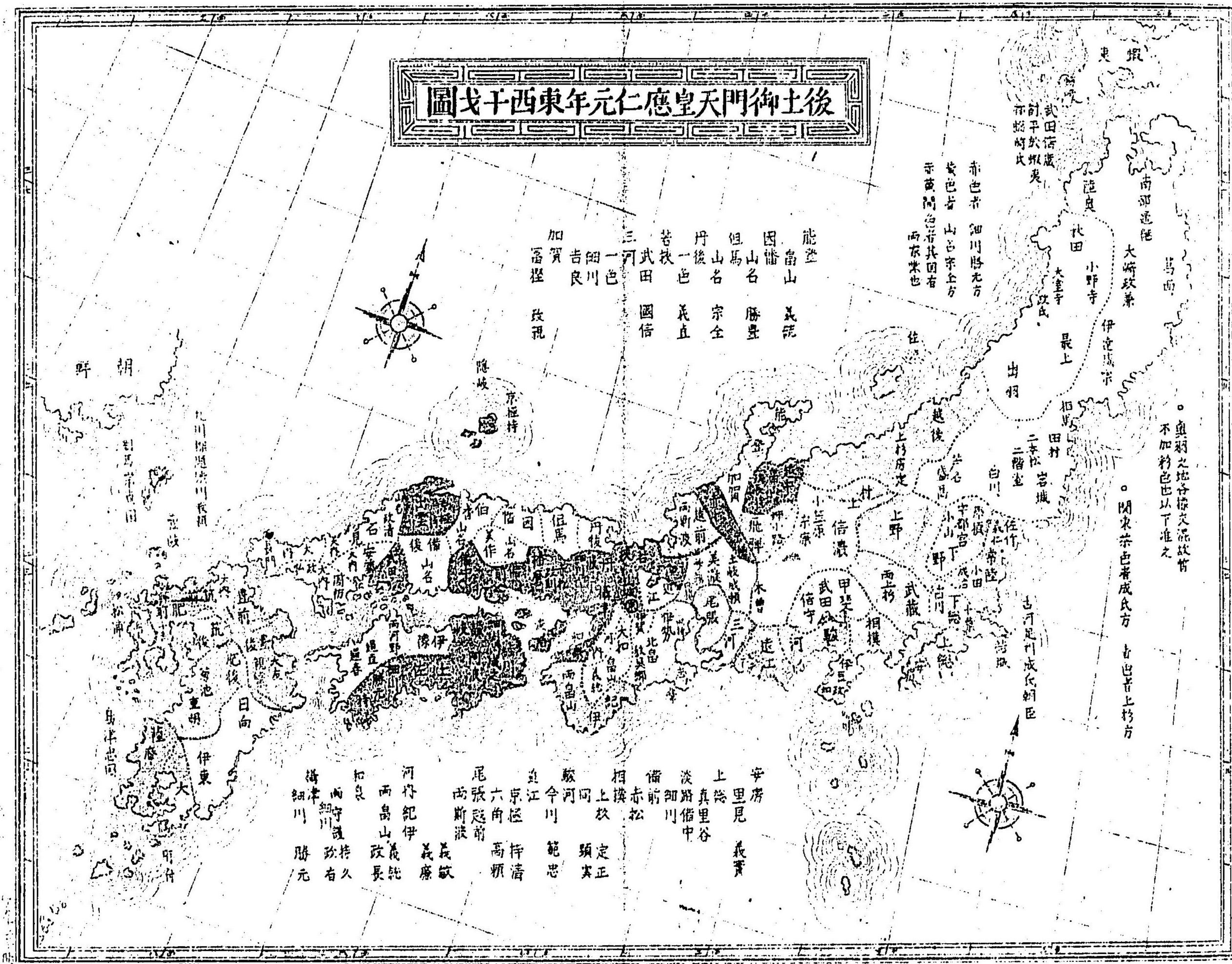
九内探題今川兼世

肥前肥後

日向伊東



後土御門天皇應仁元年東西干戈圖



赤色者 細川勝元方
藍色者 山内宗全方
赤黄間色者其両方
亦赤也 亦黄也

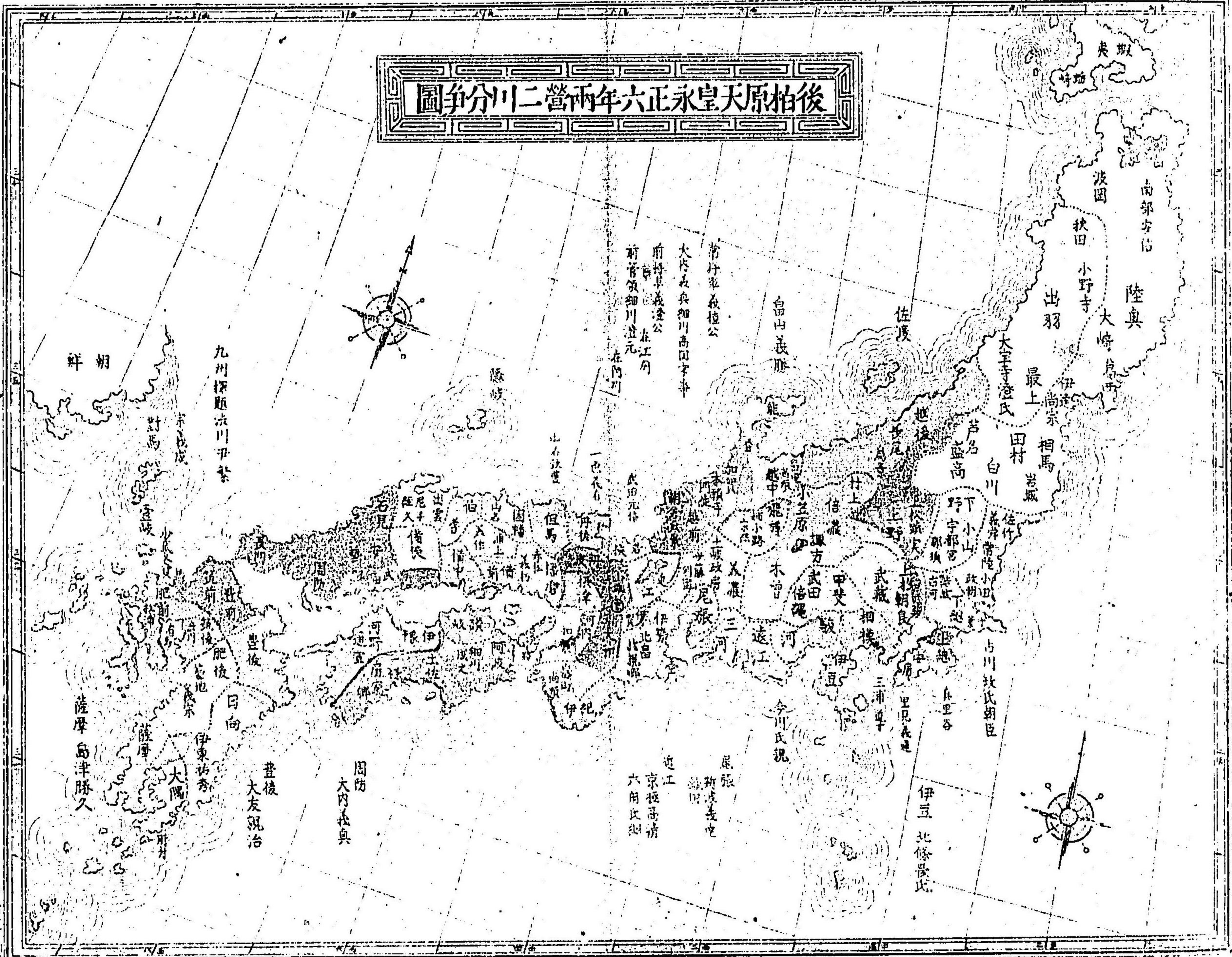
赤色者 細川勝元方
藍色者 山内宗全方
赤黄間色者其両方
亦赤也 亦黄也

○ 奥羽之地各標文流故皆
不加彩色也以下准之
○ 関東赤色者成氏方 藍色者上杉方

安房 里見 義實
上総 真里谷
淡路 備前 中
備前 赤松
相摸 赤松
駿河 今川 範忠
京極 高頼
尾張 前 高頼
河内 紀伊 義隆
西島山 義隆
和泉 守 義隆
攝津 守 義隆
備前 守 義隆

野 朝

後柏原天皇永正六年二月分川二營圖



朔朝

九州探題流川尹繁

陸奥島津勝久

豐後 大友親治

周防 大内長興

近江 京極高清 六角武則

尾張 斯波長忠

伊豆 北條景時

常陸軍義隆公
大内長興細川高国守中
前將軍義隆公 在江月
前首領細川澄元 在內川

台山長藤

佐渡

大寺寺澄氏

陸奥

波圖 扶田 小野寺

出羽

最上

田村

岩城

白川

山崎

古川

北條朝臣

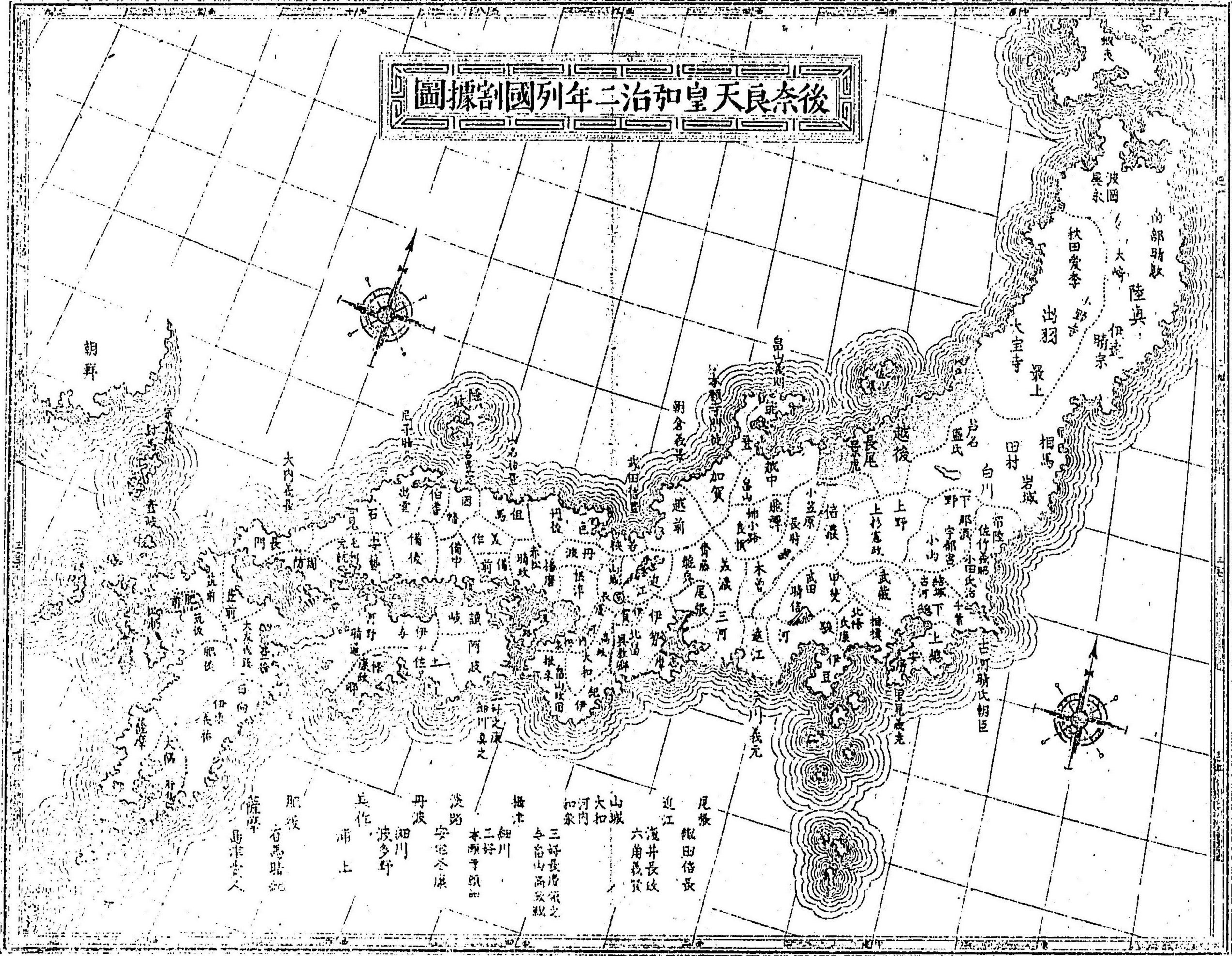
三浦

里見長忠

伊豆

北條景時

後奈良天皇治二年列國割據圖



朝鮮

南部新狀

陸奥

出羽

最上

田村

岩城

白川

野下

野上

武藏

上野

上杉

越後

長尾

越前

加賀

石川

丹波

丹波

丹波

丹波

丹波

丹波

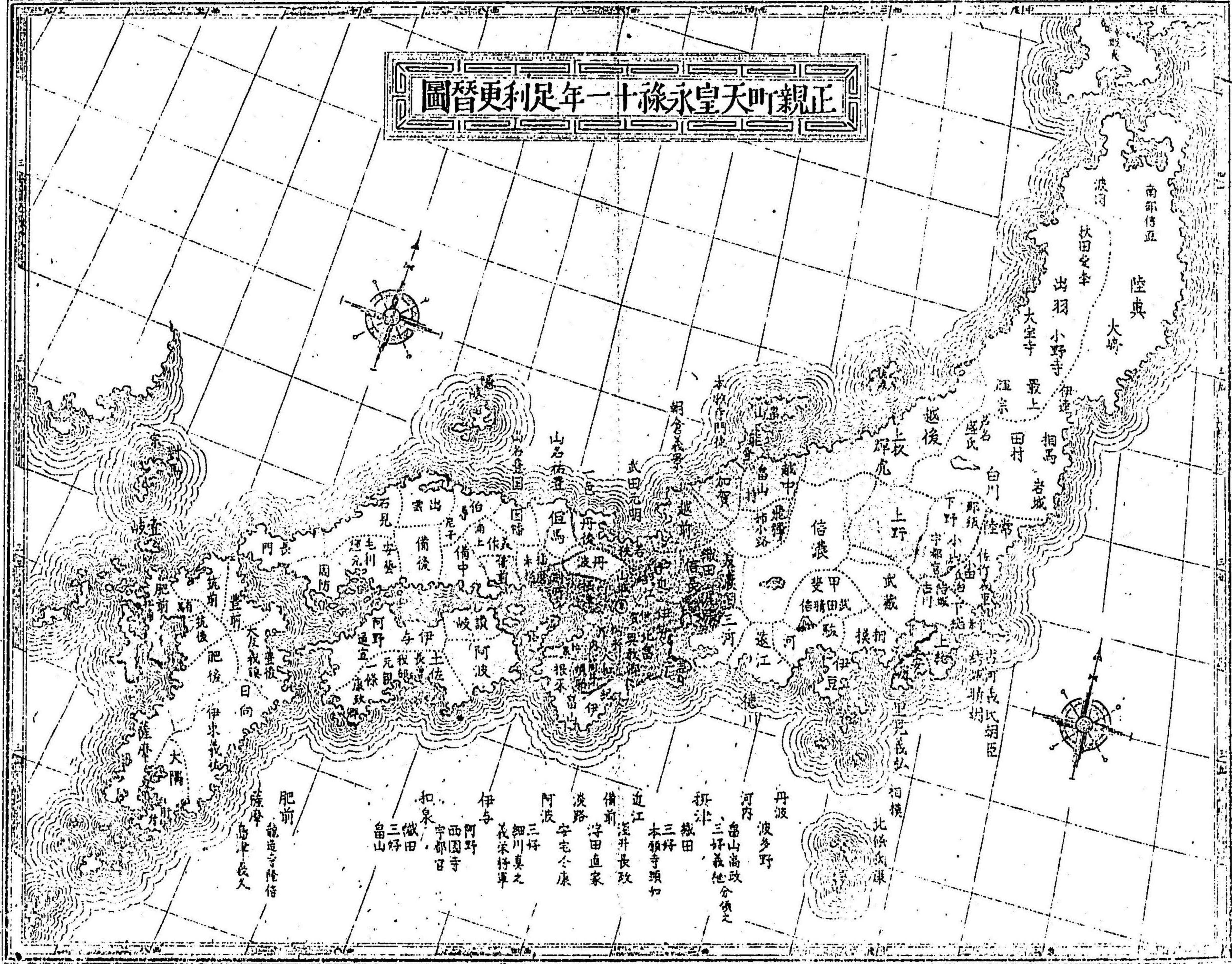
丹波

丹波

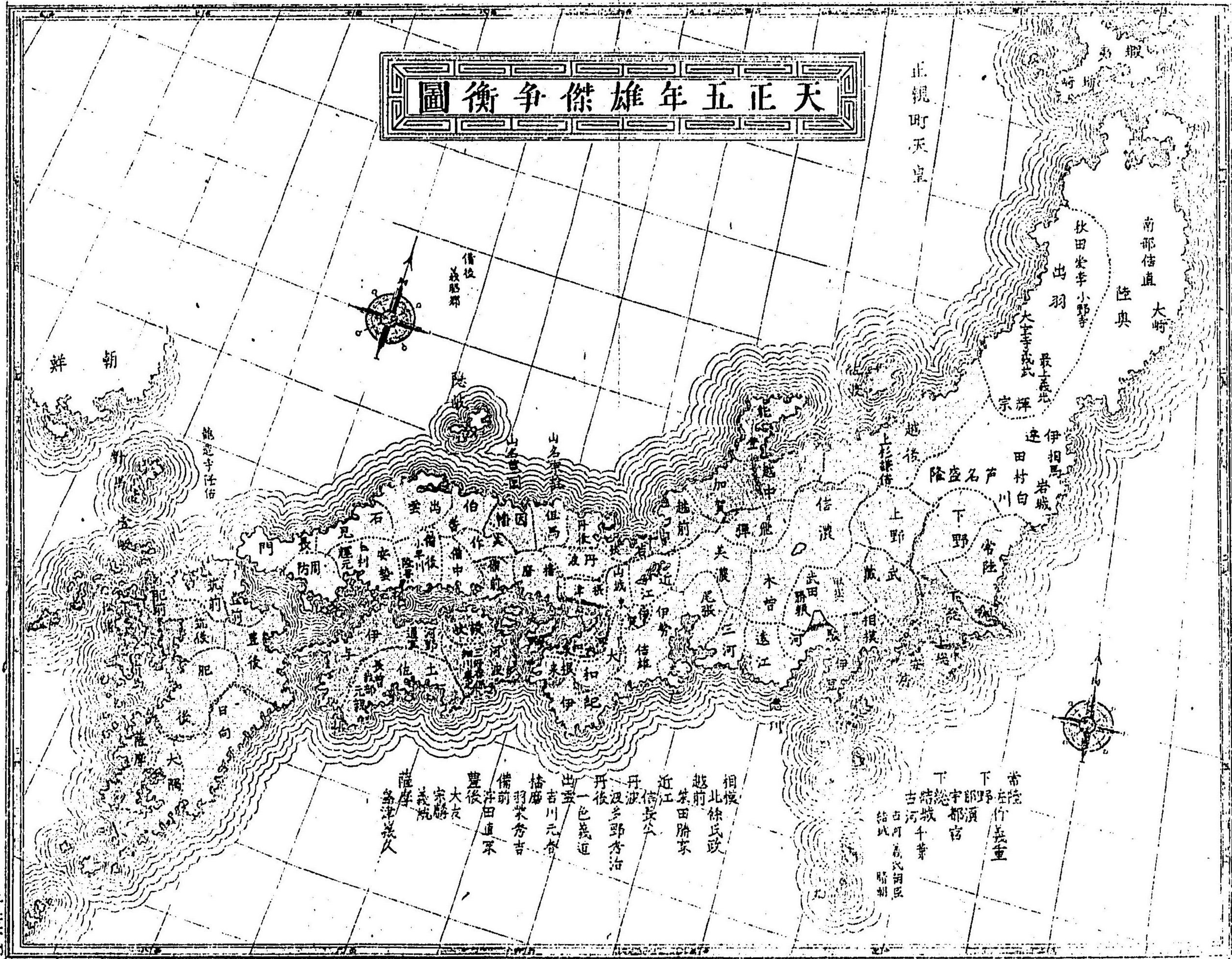
丹波

丹波

正親天皇永祿十一年足利更替圖



天正五年雄傑爭衡圖



正親町天皇

南部信直 大崎

陸奥

秋田 松平 小野寺

出羽

最上 義光

宗 輝

伊 田

田 村

白 川

常 陸

下 野

上 野

信 濃

武 田

相 模

武 藏

河 内

丹 波

丹 後

近 江

越 前

北 條 氏 政

茶 田 勝 家

相 模

出 羽

丹 波

丹 後

近 江

越 前

北 條 氏 政

茶 田 勝 家

相 模

出 羽

丹 波

丹 後

近 江

越 前

北 條 氏 政

茶 田 勝 家

相 模

出 羽

丹 波

丹 後

近 江

越 前

北 條 氏 政

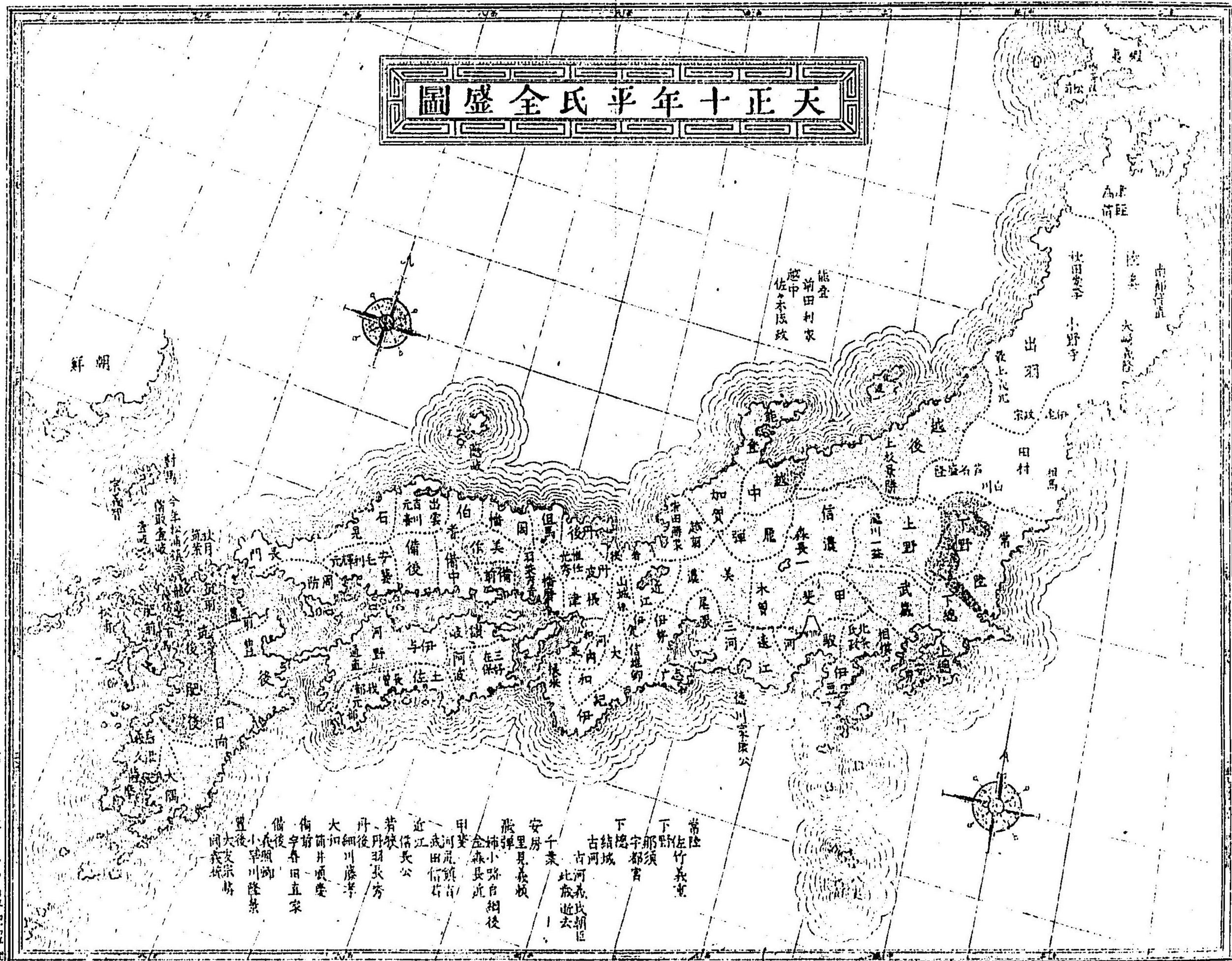
茶 田 勝 家

相 模

出 羽

丹 波

天正十年平氏全盛圖

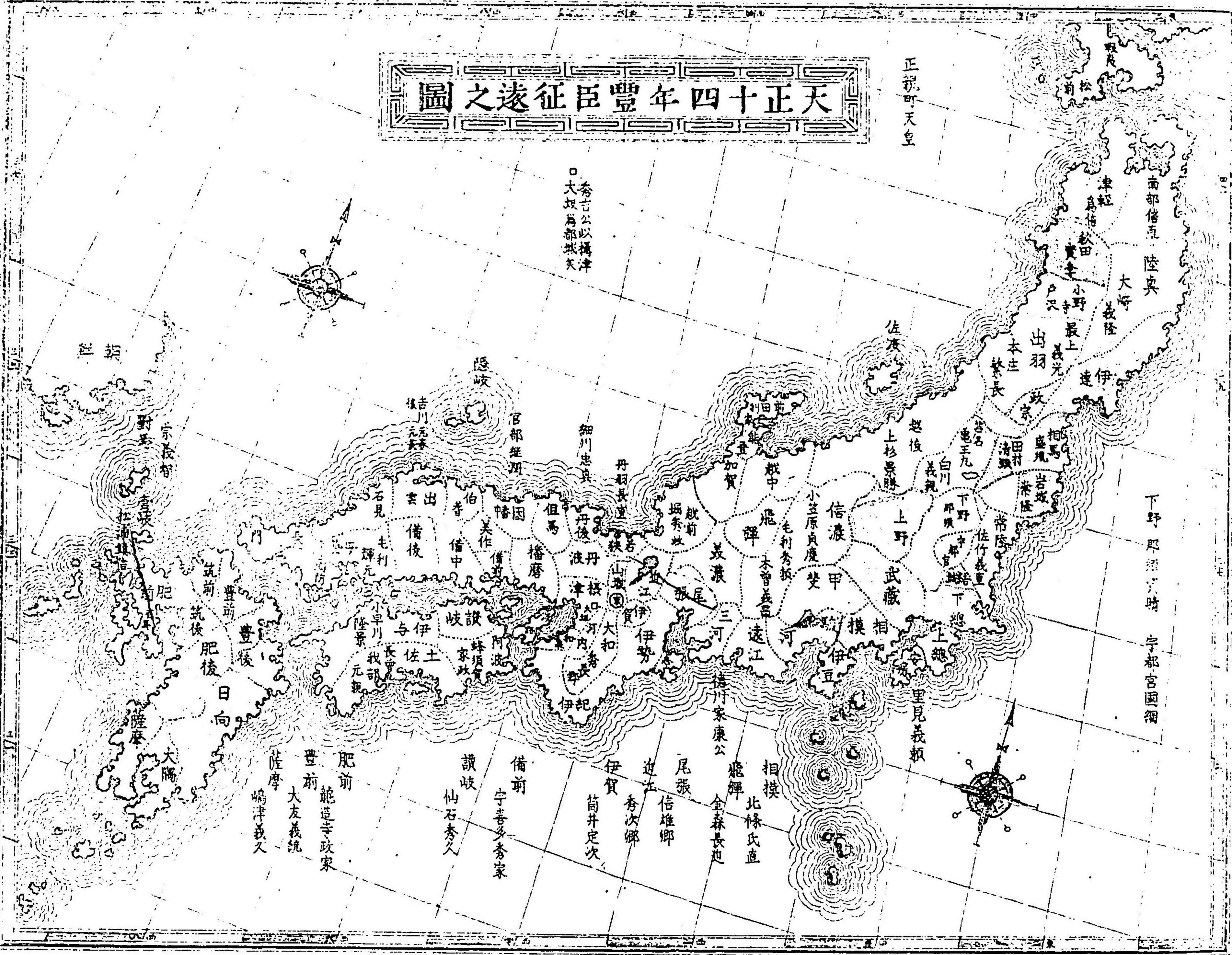


一五〇四五

天正四十年豐臣征遠之圖

正親町天皇

秀吉公以攝津
大坂為都城矣



下野 那須野野原 宇都宮國獨

肥前 龍道寺政東
豐前 大友義統
備前 宇香多香家
備後 仙石秀久
備前 尾張 信雄卿
伊賀 秀次卿
伊豆 筒井定次
相模 北條氏直
飛騨 金森長助
尾張 信雄卿
伊賀 秀次卿
伊豆 筒井定次
相模 北條氏直
飛騨 金森長助

明治十二年三月廿九日出版版權御願

同 年四月三十日版權免許

同 十六年三月 刻成發兌

定價金壹圓

京都府平民

編輯人 松山喜輔

上京區第廿五組御幸町通
九太町東入毘沙門町四十四番戶

京都府平民

出版人 藤井孫兵衛

上京區第卅組御幸町
上九太町八番戶



五車書房

五車書房

